

# 1 日誌・諸願留・御用留・教育・奉迎事務等

資料名	内容	タテ×ヨコ×厚さ(cm)	備考
1 明治五年 日誌 幌別村役場	本澤直養によるものか、明治5年9月26日～明治6年12月31日。	25.9×18.4×3.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治五年 本沢日誌」、近年改めて白色厚紙で表紙を装丁されている。保存年限永年。破損部分をコピー用紙に貼付している箇所有。全体に虫損小。内容上部に欠損小鉛筆による書込み有。
2 明治五年七月ヨリ 諸願留 幌別出張所	明治5年7月7日～明治7年12月20日(一部 許可の追記で明治8年1月13日付あり)。永住人河(川)村丑太郎等の出稼願書、宮城県貴族幌別郡寄留小島久が白石へ行くための印鑑渡願書、幌別郡漁場持山田文右衛門代山田新兵衛(又は帳後松谷金弥)願書、御下米願書等。明治6年付け以降幌別郡副戸長は本澤直養、明治7年付け同郡伍長遠藤震三郎(明治7年11月付けから幌別郡総代本澤直養、同郡副総代遠藤震三郎)。	26.3×17.2×3.5	開拓使幌別出張所時代、昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治五年 諸願留」)。旧表紙表書より表題をとる(但し表紙は厚紙ではない)。背表紙に昭和期題箋貼付(背表紙下部欠損、題箋大部分欠損)。保存年限永年。194・195頁間に上部が欠損した文書が斜めに綴じ込まれている。虫損小。
3 明治七年全八年分 室蘭御達書	明治7年12月20日～明治8年12月30日(幌別郡戸長斎藤良知)。アマツ禁止に係る関係、支那交易、北海道産物(昆布)輸送に係る件など。室蘭出張所・室蘭病院出張所差出しの達書を主に綴る。	28.0×20.3×9.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治七年 室蘭御達書」)。旧表紙表書より表題をとる。背表紙全て欠損。保存年限永年。内容部分下部にシミ有。上部欠損小鉛筆による書込み有。
4 明治七年第十月 牧場方 物産局往復御用留	明治4年12月～明治5年5月(救助米につき款額、廃紙の利用)、明治7年9月12日～明治8年3月18日。登別牧場の傍に草小屋1棟を建てる件、登別滞留牧場取扱者への給与・扶持米の件、登別牧場板小屋板戸柝の際に立替払いした者全員への支払いの件、斃馬届の件、登別牧場積雪のため食糧不足に付白老郡社台へ馬追立ての件、登別牧場取締心得等。	25.0×17.6×2.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治七年 物産局往復御用留」)。鉛筆で「牧場」との書込み有。旧表紙表題の内「牧場方」は朱筆。旧表紙より表題をとる。背表紙に昭和期題箋貼付(題箋欠損部分あり、文字擦れ、後年題箋の上から直接黒マジックで「M7 物」]と記載)。保存年限永年。中身全体にカビ小59ページ虫損大、糊剥がれ有。表紙に鉛筆による書込み有。一部罫紙(柱書「札幌本庁 室蘭出張所」)「開拓使」。
5 明治七年十一月同十四年十二月迄 御収税金・船税金・拝借金・建家代価 上納目録	明治7年11月7日～明治14年12月14日。拝借金上納目録、御冥加金上納目録、船税金上納目録(漁場持山田文右衛門代山田新兵衛(印)→室蘭港海關御役所)、船税金上納目録(漁業字為南久之呂代印山田新兵衛(印)→室蘭港海關御役所)等アイヌの磯船に係る上納金関係、御収税目録(布海苔・昆布、漁場持山田文右衛門代山田新兵衛(印)→幌別郡出張所)、上納目録(幌別村第2号長屋1棟払下げ、馬払下げ、新墾フラオ1挺)、御収税金上納目録(布海苔、明治8年12月付、漁場持山田文右衛門代松谷金弥(印)→民事局)等。	25.0×17.0×9.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(「自明治七年 至明治十四・十二月迄 上納目録留」年月など後筆)。旧表紙に朱筆で「酒煙草税金」附 馬代備農具代価 伐木炭産税金の加筆あり。旧表紙表書より表題をとる。背表紙に昭和期題箋貼付(一部欠損)。保存年限永年。所々下部に薄いシミ有。後半にヨレのある箇所有。鉛筆による書込み有。一部破損甚大な資料あり。
6 明治十一年一月・同十二年・同十三年・同十四年 室蘭上申書	明治11年1月4日～明治14年6月24日。幌別郡総代遠藤震三郎・副戸長 本澤直養(明治12年12月には旧副戸長、明治13年1月18日、両名の肩書に旧がつく)。明治13年3月23日付け文書から本澤直養が幌別郡戸長となっており、幌別郡長は田村顕允。明治13年5月16日付けの上申では厚子(アツシ)織の原糸にする木皮が幌別にはなく、有珠・虻田から買入れている記述などもあり。	27.3×20.0×3.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十一年 室蘭上申書」)。旧表紙表書から表題をとる。背表紙に題箋貼付(上部部分以外欠損、背表紙に直接、黒ペンで作成年記載)。保存年限永年。鉛筆による書込み有。中身下部にシミ有。
7 自明治十六年十一月至同十七年 仕出証書留 出納	明治16年11月14日～明治17年6月。明治16年11月～明治17年5月付けで幌別郡各村戸長本澤直養、明治17年5月以降(詳細日数不明)、佐藤誠に代わる。受入金に付向(室蘭郡役所より戸長役場経費・駅通諸費、有害鳥獣殺獲手当)、仕出書(片倉景光他筆耕糶入料、筆生等役場吏員月俸、借家料、補助金、朱肉・吏員用筆墨等消耗品、炭、有害鳥糞37羽、大工料、旅費等)、明治16年11月経費仕訳書(表形式、後年の分もあり)、幌別郡各村戸長役場借家料受領証(片倉景光→幌別郡長田村顕允)、熊獲殺に付手当金下渡願(知里幾蔵・宇ウヌゴイ山、金成恵里雄・宇ボンライバ山)、明治16年12・同17年1・2月付け筆墨料受領証(札幌県師範学校予備教員金成太郎→札幌県令調所広文)、明治17年6月付県立創成学校7等訓導給与受領証(幌別郡幌別村金成太郎→札幌県令調所広文)等。	26.5×18.0×7.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表紙表書「明治十六年 仕出証書留」)。旧表紙より表題をとる。背表紙に題箋貼付(背表紙中央より下部欠損、断裂あり、題箋大部分欠損、後年背表紙に直接黒ペンで「明治十六年」と記載)。破損甚大(綴紐がはずれ後付表紙が取れかかっている)。赤と白の細紐で全体を固定。保存年限永年。一部罫紙(柱書「札幌幌別郡各村戸長役場」)「札幌幌別郡戸長役場」)
8 明治十六年十二月 難破船書類 浦役人方	明治13年11月27日～明治25年7月18日。明治13年11月27日付札幌本庁開拓大書記官調所広文達書(難破船届出につき)。明治16年12月中の難破船の往復書簡。札幌県胆振国室蘭郡第二組戸長兼浦役泉忠貞帰服中に付き、代理村用係 泉麟太郎。	24.8×18.5×2.5	旧表紙の上から昭和期幌別村役場の表紙を装丁。各綴を最終的には大綴で綴じていたようだが紙綴はなし。保存年限永年。初頁に明治25年7月18日付田中直吉改印御届(室蘭村戸長石川光親宛)を挟込むが、別簿冊のものか。日本沿海難船図(印刷)を挟込むが破損甚大、テープでの補修痕あり。
9 明治十七年六月 戸長諮問事項	戸長役場の達書の案文、雛型、議案等。末尾に幌別郵便局照会文書(明治20年2月5日付)・室蘭郡役所照会文書(明治20年2月13日付)等あり。	27.5×19.3×2.5	旧表紙(表書「明治十七年六月 戸長諮問事項」)の上から昭和期幌別村役場の表紙を装丁。背表紙に昭和期題箋貼付(下部欠損、題箋大部分欠損)。保存年限永年。背表紙破損。上部に欠損小。下部全体が湿気により傷み。129～134頁落丁(3枚、128・135頁間に挟込み)。一部罫紙(柱書「札幌幌別郡各村戸長役場」)「札幌県室蘭・虻田・有珠・幌別郡役所」「室蘭・虻田・有珠・幌別郡役所」「戸長役場」。
10 明治十八年一月起 全十九年十二月迄 戸長事務届届上申綴	旧表紙の台紙とされたらしき紙に明治13年9月24日～10月8日付けの大蔵卿布達使用(盗難された金庫公債証書が発見された等)。明治18年1月6日～明治19年12月1日。幌別郡各村戸長 佐藤誠・幌別郡長 田村顕允。	27.8×19.7×2.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 戸長事務届届上申綴」)。旧表紙表書から表題をとる。背表紙に昭和期題箋貼付(題箋大部分欠損、背表紙に直接黒ペンで作成年記載)。保存年限永年。内容下部に少々シミ有。鉛筆による書込み有。
11 明治十八年一月起 郡役所達留 戸長役場	明治18年1月6日～同年6月30日。明治17年12月13日付け室蘭郡役所達書の写(幌別村総代人変換に付き照会)あり。	28.2×21.0×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年一月起 郡役所達留」)。背表紙に題箋貼付(大部分欠損、題箋の文字擦れの為か作成年をペンで記載したと見られる「年」のみ残る)。保存年限永年。原表紙に文書の再利用している箇所有。
12 明治十八年自七月 本縣令達・本縣指令・本縣訓示内訓 録 幌別郡各村戸長役場	明治18年6月29日～明治19年12月25日。室蘭・虻田・有珠・幌別郡長 田村顕允、幌別郡各村戸長佐藤誠。戸長役場庶務規程実施に付訓示、葬儀の儀に付内務省裁令訓示、露英開戦の見込みに付内達、戸長役場用掛・筆生等に過失ある時の進退に付内達、売薬に係る看板雛形達、幌別戸長役場明治18年度予算達、移住農民開墾地に付明治7年旧開拓使布達移住農民給与更正規則を守るよう訓示、地方税に関する轄管業・願届、廃業届出に付告達、結婚届書式規定に付告達、総代人選挙に関する件、戸長役場事務整理の件、戸長役場移転の儀上申等。	27.8×20.0×3.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 本縣令達・本縣指令・本縣訓示内訓 録」)。旧表紙表書より表題をとる。背表紙上部・中央・下部一部欠損(黒ペンで「明治十八年」と記載)。保存年限永年。内容上部にシミ小。52～55頁弱弱版の脱色あり。一部罫紙(柱書「札幌県」)「郵便局」)「札幌県室蘭・虻田・有珠・幌別郡役所」)「室蘭・虻田・有珠・幌別郡役所」)「戸長役場」)。「札幌県室蘭・虻田・有珠・幌別郡役所」)「戸長役場」)用紙あり。
13 明治廿四年五月起 幌別学田二係ル書類 鷺別戸長役場	明治23年6月3日～明治31年9月24日。幌別郡各村戸長日野愛憲、幌別村戸長石川光親、幌別郡各村輪西外一ヶ村戸長赤松円太。幌別・鷺別学田貸付許可関係(農業、製材掘採、砂利線布設使用等)。砂利線布設の件では北海道炭炭鉄道会社社長高島嘉右衛門の願書あり。各地図面類あり。38頁図面に片倉景光耕地記載。	29.0×19.7×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表紙表書「明治二十四年 幌別学田関係」)。表紙折部分中央から地まで縦に断裂。背表紙に題箋貼付(題箋大部分欠損、背表紙に直接、黒ペンで作成年記載)。表題は旧表紙からとる。保存年限永年。後年の付箋有。一部罫紙(柱書「幌別郡各村室蘭郡輪西外一ヶ村戸長役場」)「北海道炭炭鉄道株式会社」)。「戸長役場」)「幌別郡各村室蘭郡輪西外一ヶ村戸長役場」)用紙54・55頁間に紺野久治・佐藤誠から鷺別戸長役場宛書簡を綴る(途中糊剥がれ)。
14 四拾四年三月 奉迎事務 幌別各村戸長役場	明治44年1月23日～明治44年9月15日。幌別郡幌別外二ヶ村戸長 尾崎春松。東宮殿下北海道行啓の一件。第1～15号。奉迎事務に関する件、農商務統計報告に関する件(北海道の実況を見せる為)、記念事業調査の件、東宮主事巡視の件、東宮主事来道の件、戸口調査の件、献納写真に関する件(登別温泉、室蘭小林写真館にて撮影)、土木工事に關する写真の件(幌別鉱山軌道)、奉迎に関する件(行啓の際の公衆の心得、拝謁者の件(ジョン・パチェラー宛文書あり)、一般拝謁位置図等あり)、統計材料の件、高齢者奉迎位置に関する件(高齢者調査表添付)、写真献納願(明治14年陛下行幸御駐蹕記念標)等。	24.6×17.4×3.5	背表紙に題箋貼付(題箋ほぼ破損、後年背表紙にペンで作成年を記載、背表紙上部一部欠損)。題箋に「永年」とあり。内容左側上部にシミ有。罫紙あり(柱書「幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道庁室蘭支庁」)。「幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道庁室蘭支庁」)用紙あり。「幌別鉱山事務所用紙」あり。
15 明治三十七年明治三十八年 第二類 賑恤救済ニ関スル書類 幌別外二ヶ村戸長役場	明治35年12月13日～明治38年12月13日。幌別外二ヶ村戸長橋本義知。大畑新七に関する件(戸長役場付近を訪復行の男児)、旧土人保護の件(貧困程度調査表、各人の種子給与願(農業従事者だが近年不作続き等の理由あり)添付)、漁船転覆救助につき賞状、幌別村戸長上川川口平三郎行旅死亡人の件、窮民救助費及教育費の件、行旅死亡人の件(複数件を綴る、栃木県芳賀郡平民篠原松三郎は行旅中脚気症にかかり幌別村金成喜藏方にて療養とあり)等。	25.4×17.1×5.0	背表紙に題箋貼付(昭和期に貼付、題箋上書「明治三十七年明治三十八年賑恤救済関係」、文字擦れ)。内容左側面に少々シミあり。罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別外二ヶ村戸長役場」)「室蘭郡輪西外二ヶ村戸長役場」)「室蘭支庁」)「室蘭支管内戸長役場」)「函館区役所」)「倶知安村戸長役場」)。「北海道幌別郡幌別外二ヶ村戸長役場」)用紙あり。

16	大正十二年 社会事業	大正12年1月2日～大正12年12月3日。幌別村長吉田慶太郎。第1～143号。養育に係る棄児大正11年該当なき件、済貧恤窮施行表の件(なし)、出稼労働者帰郷実況調、消費節約に関する協議会成績調、消費節約に関する「ポスター」等製作調、済生会救療状況報告、民力涵養活動写真会の件、住宅調査に関する件、職業紹介所に於ける紹介人員報告の件、社会教育資料実話募集の件、民衆教化社会事業に関するポスター類蒐集の件(登別温泉火防衛生組合のポスター添付)、全国青年団大会に関する件、旧土人土地付願に対する意見書、報徳会趣旨講演会開催の件、土人保導委員取扱事務に関する件、西比利亜引揚の為損害を被りたる者等救恤に関する件、生活改善展覧会出品物の件、土人給与地調査に関する件、全道少年団ジャポリーに関する件、旧土人保護に関する意見の件、青年団処女会少年団状況報告の件、旧土人共有財産調の件、土人保導委員執務細則の件、貧困者救療報告、土人救療報告、移住者指導委員養成に関する件、軍事救護費交付の件等。	25.1×16.9 ×8.5	背部分に茶色の紙で帯のようなものを貼付(上書「大正12年社会事業」(黒ペン字))。罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」「北海道社会事業協会」「北海道庁胆振支庁」)。「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁胆振支庁」用紙。「北海道幌別郡幌別村公用紙」あり557頁(社会政策講習会要領、印刷物断裂(断裂部分558頁との間に挟込み)。719・720頁間に貧困者救療規程を掲載した北海タイムスを綴る(大正12年6月28日付)。
17	旧條例規則規程台帳 幌別村	幌別村の条例・規則・規程について大正8年～昭和4年間の制定、全部改正、一部改正の状況を記す。総則(1号)、村会(1・2号)、村吏員(1～4号)、諸給与(1～8号)、財産造営物(1～6号)、村税(1～4号)、其の他財務関係(1～8号)、其の他(1号)。	27.5×20.4 ×3.0	背表紙あり(破れ・欠損あり、上書あり)。一部罫紙使用(柱書なし)。まとまりごとにインデックスラベルを貼付し、分類番号は漢数字、号はローマ数字で記載。
18	自昭和五年四月至昭和六年三月 拓殖	昭和5年1月22日～昭和6年3月31日。幌別村長松田熊吉。第1～64号。民有未墾地開発其他事務改善に関する件、民有未墾地調査に関する件、未開地売払願の件、民有未墾地開発事務処理の件、保安林解除の件、土地境界査定図更正の件、砂利採取許可の件(大字幌別村海岸での海浜地砂)、民有未墾売買斡旋に関する件、償還組合一覧表送付の件(一覧表添付あり。幌別村内では開放地主日野久橘の「キムンタイ償還組合」を掲載)等。	28.2×21.2 ×4.0	背表紙に題箋貼付(題箋文字に擦れあり)。綴じ込まれている紙に比し表紙の規格が小さい。一部罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁」)。
19	昭和九年 條例規則規程関係 幌別村役場	昭和8年7月28日～10月1日(幌別村長河村武雄、昭和9年7月26日付文書今泉武雄)。第1～10号。特別税戸数割賦課徴収条例改正・幌別村役場庶務規程改正等。	24.8×17.7 ×2.0	幌別村役場の表紙を装丁。保存年限永年。背表紙に題箋貼付あり(一部擦れあり)。一部罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁」)。
20	自昭和七年至昭和二十一年 例規綴 幌別村	昭和7年2月28日～昭和21年4月18日(收受年月日)。第1～203号(一部削除されている号あり)。町村に係る地租付加税特別地租付加税賦課率の件、公益質屋資金に関する件、直接鉱業用の土地及工作物に対する不動産取得税賦課に関する件、漁場買賃価格報告の件、営業収益税を免除せられたる応召従軍軍人に対し営業税賦課の件等。大日本帝国政府罫紙の挟込みあり。	28.0×20.2 ×5.5	表紙に「永年保存」と記載(赤ペン)。背表紙あり(排紙利用、大概が欠損のため上書判読不能)。目次から削除されている号の件名を見ると徴兵旅費関係・靖国神社関係等戦時色の濃い文書が多いことから、戦後除外されたものか。一部罫紙使用(柱書「索引用紙 幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」)。一部、排紙利用あり。
21	昭和五年以降 教育秘文書綴 幌別村役場	昭和5年12月13日～昭和8年6月7日(幌別村長松田熊吉)。財界不振に対する児童の状況調査(マントのなき者、足袋のなき者、昼食を取らない者等、各校回答あり)、小学校教育費予算編成、教員退職者後任者、御真影奉衛や奉還に関する件(照会・各校回答)、御真影異状の状況及び奉衛上の処置調査、教職員並に生徒の思想問題に関する件通牒等。登別尋常高等小学校では明治天皇・昭憲皇太后の真影に斑点を発見し対応に追われるが他校でも褪色等はあり。	28.0×19.5 ×1.5	背表紙に題箋貼付あり(文字の擦れあり)。児童の状況調査には個人名・親の職業等も記されるため取扱注意。罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」)。

## 2 村治類典

	資料名	内容	タテ×ヨコ×厚さ(cm)	備考
22	明治十四年十五年 幌別外二ヶ村村治類典	明治14年7月16日～明治16年4月(各村戸長本澤直養、明治15年幌別村総代小片朋喜・佐野源蔵)明治12年7月付け「幌別郡移民明治八九年農具貸借調」(幌別郡副戸長本澤直養・同郡旧総代遠藤三郎差出)等一部明治12年の文書の挿込みあり。「地所御下渡願」「御給与之義二付願」「御払地開墾見込書」「牧場地所御払下願」が主に綴じられている(永住人・移住民・アイヌ)村林保存関係はアイヌ・和人連名(片倉景光の名もあり)滝本金蔵による温泉地周辺の払下願書もあり。末尾には宮武清治の地所返上願等も挟む。	27.4×19.4×6.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表紙表書部分糊割れがれあり)背表紙全欠損。保存年限永年。中身全体にカビ小。ページ側面に欠損有。230ページに虫損小、糊割れ有。内容全体に薄いシミ有。
23	明治十六年 幌別外二ヶ村村治類典	明治15年1月～明治21年1月27日。牧場取調の件(ノホリヘツ牧場、廃牧場(牧主開拓使)について位置・反別・水草・樹木・販路等の詳細を記載)、村内概況調(明治17年時)、暴風被害状況調、明治18年上半期県治集大成(幌別郡各村戸長役場)等。151頁より「明治十五年一月ヨリ結証書并仕出書類」(幌別郡戸長役場)を綴る。仕出証は幌別郡幌別川渡守給料仕出証(鈴木助治251頁)、蘭法坂守給料(橋元久八、265頁)、旧戸長役場借家料(本澤直養)等。	28.3×20.0×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。背表紙に昭和期の題箋貼付(中央から下部にかけて欠損、後年作成年を黒ペンで記載)。保存年限永年。中身全体にカビ有。虫損大の箇所有。中身全体に薄いシミと赤インクの色移り有。背表紙破損。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」「室蘭・虹田・有珠・幌別郡役所」「戸長役場」)。「戸長役場」用紙使用。
24	明治十八年七月ヨリ同十二月二至ル 幌別外二ヶ村々治類典 国税・地方税 幌別郡各村戸長役場	明治18年6月1日～明治18年12月15日。税関係書類の前に人別断簡を綴る(斎藤良知・農業 西東勇吾・農業 片倉廣・農業 伊藤仲五郎・農業 本澤直養・旅館屋渡世 東海林美恵)目次1～32。免税車有無取調差立の件、樺沢蔵松馬車願及税金上納の件、日野久橋馬車営業廃業届出の件、18年度戸数割別形に倣い差出すべく申入の件、金成善蔵旅人宿営業願(59頁)、中山弥重飲食店願の件、日野久橋小売営業願及税金上納の件、黒澤源一郎雜商廃業願の件、18年地租割明細表、日野久橋牧場賃料不足追徴上納の件、地券印紙売別高表差立の件等。	28.0×19.8×2.2	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 幌別外二ヶ村々治類典」)。旧表紙表書より表題をとる。背表紙に題箋貼付(下部欠損、題箋の印字擦れ、後年直接黒マジックで「明・18年」と記載)。保存年限永年。全体に薄いシミ赤インクの色移り箇所有。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」「室蘭・虹田・有珠・幌別郡役所」)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
25	自明治十八年七月至全年十二月 幌別外二ヶ村々治類典 木材・共進会・報告 幌別郡各村戸長役場	明治15年10月12日～明治19年2月10日。幌別郡各村戸長佐藤誠(明治19年2月4日付文書では幌別郡各村戸長)1～262頁、263頁～で一括り。伐木運搬の義御届(津村柳吉・滝本金蔵ら)、枯損木御払下願、袖夫名前書(登山加茂野、金成善蔵、盤木實治、津村柳吉、上武刈蔵ら)、立木御払下願、副産物御払下願、物品目録等。1～262頁届書に図面添付あり。中表紙表書「明治十」起 物産畜畜両表綴 徴発物件表及全船舶表附 幌別郡各村戸長役場。幌別郡各村物産表、明治16年7月より12月までの売却馬員調等。	28.8×21.0×6.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 幌別外二ヶ村々治類典」)。「②」(鉛筆)の書込み有。旧表紙より表題をとる。背表紙欠損。保存年限永年。文書全体にカビ痕・破損甚大(昭和期の表紙にカビ痕・シミ等ないことから再編纂以前のものか)虫損小。207頁に断簡挿込み(「共進会」、下札カ、下部カビ痕)228頁に断簡挿込み(「報告」農事通信)、下札カ、下部カビ痕)528頁と裏表紙間に馬の調査表断簡の挿込み。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」「室蘭虹田有珠幌別郡役所」等)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
26	明治十八年分 幌別外二ヶ村々治類典 地方費・給与・物品調度 幌別郡各村戸長役場	明治18年7月16日～明治19年1月22日。幌別郡各村戸長佐藤誠、幌別郡長田村顕允。索引あり(1～21)。18年度経費金7月分仮渡の件(金37円8銭2厘)、7月分勘定帳訂正及不足金請求の回答書、7月分月俸仕出及証書現金支払の件、8・9月分経費金受取の件及同月分諸証書、18年度経費算決定の件、戸長他1名手当の件等。	27.7×19.6×4.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 幌別外二ヶ村々治類典」)。旧表紙より表題をとる。旧表紙は裏表紙とも廃紙を利用。背表紙に昭和期の題箋貼付(断裂小、上部・下部欠損小、題箋文字擦れ)。保存年限永年。表紙左上角部欠損。134・135頁間に挿込み有(「年金日割計算法」すべて朱筆)。表紙裏右端に赤鉛筆で書込み(「出張漁夫旅行証明書下係」)。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」「札幌幌別郡各村戸長役場」)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
27	自明治十八年七月至全年十二月 幌別外二ヶ村々治類典 移住民・土地測量・鉱山・気候測量 幌別郡各村戸長役場	明治15年12月～明治19年1月6日。幌別郡各村戸長本澤直養、佐藤誠。自費移住者届の件、愛媛県嶺北郡那珂郡吉野上村吉原喜治移住関係(山本馬太郎方へ全戸移住、給与金下渡、絵図等)、兵庫県平民藤井岩太郎移住関係、橋本(元)久八払下地再調の件、地所仮渡満期調(人別)、仮下渡畑地墾成満季届(宮武清治等)、墾成反別届(津村柳吉等)、佐藤清左衛門畑地起業の見込方法書(札幌本道治、トンケン2カ所、図面あり)、室蘭郡輪西学校産別分校学田替地割渡願関係(輪西村総代高橋辰之助、浅野惣治一調所広文代理佐藤秀頼)、他道へ寄留調、字ノホリベツ硫黄山温泉地地震の実況(明治18年6月11日)、温泉温度変化、振動等について詳細に記載)等。	28.0×19.8×3.0	旧表紙の裏(天地逆)を利用して昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十八年 幌別外二ヶ村々治類典」)。背表紙に題箋貼付(中央部分断裂、題箋大部分欠損、後年背表紙に直接黒ペンで「明治十八年」と記載)。保存年限永年。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
28	自明治十九年一月至全年十二月 庶務科 幌別外二ヶ村々治類典 外事・懲戒・道路・橋梁・船車・風害・総代人 幌別郡各村戸長役場	明治18年11月19日～明治20年3月16日。外事第1～11号・懲戒第1～2号・木材川流第1～11号・橋梁・道路第1～2号・造船・風害・幌別川渡場修繕・総代人第1～7号・造船・戸長佐藤誠旅人宿営業人金成善蔵より英国人滞在届の件(バチエラー夫妻及びビチェンバレンの外国人旅行免状添付)、御雇英国人滞在に付諸事注意の件、大学校御雇英国人出立の節人馬注意の件(人馬継立に不都合がない様に対応することなど、室蘭郡役所一幌別戸長役場)、英国人子ヤンハレン氏宛書翰の件、ヤンハレンより東京大学校外山氏へ電報の件、大学御雇ヤンハレン出立の件、金成善蔵方滞在英国人出立の件、金成善蔵英国人滞在届の件、ルイナホレラン親王通行の件、ルイナホレラン通行に付郡民へ触示の件等。	26.0×18.5×2.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十九年 幌別外二ヶ村々治類典」、折部分の中央から地まで断裂)。旧表紙から表題をとる。背表紙に昭和期の題箋貼付(文字擦れ)。保存年限永年。後年付箋有。鉛筆による書込みあり(漢字の読みを示したもの、昭和50～60年の市史編さん期か)。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」「室蘭虹田有珠幌別郡役所」)。「戸長役場」。「室蘭虹田有珠幌別郡役所」用紙あり。
29	明治十九年 幌別外二ヶ村村治類典 地券	明治二十一年一月 幌別郡各村戸長役場。駅通・道路橋梁・町村総代 幌別郡各村戸長役場)を綴る。昭和期の再編纂の際に綴られたものか。明治18年12月1日～明治21年11月15日。幌別郡各村戸長佐藤誠、日野愛憲。第1～39号(ただし、実際は39号までなし)。河田新太郎名義換の件(新太郎病死の為長男河田為助に名義換え)、橋元久八代金上納の件及地券下付の件、除租地償還申請の件、斎藤良知地券申請書の件等。明治21年村治類典。総代人選挙、里程標、村界標建換の件(風雨等で腐朽又は字体不明の為)、里道費御補給の件、幌別村字川上里道及幌別川仮橋1ヶ所新築の件、総代人辞退願(山本馬太郎)、人馬車継立営業規則等継立所・継立所設置見込の者へ配布するよう通知等。	30.2×21.0×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十九年 幌別外二ヶ村村治類典」)。背表紙に昭和期の題箋貼付(断裂、題箋の文字擦れあり)。保存年限永年。背表紙破損。表紙表に貼付のラベル右下に「B」と書込み(鉛筆)。内容に鉛筆による書込み有。後年の付箋有。121頁・140頁間に「除租季明地券送達書」綴を挟込み。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
30	自明治十九年一月至全年十二月 庶務科 幌別外二ヶ村々治類典 営業取締・駅伝・駅通 幌別郡各村戸長役場	明治18年12月～明治19年12月11日。幌別郡各村戸長佐藤誠。第1～13号。西東勇吾払下諸物件延納願訂正至急可指出の件、駅伝取締規則に関する営業者規約の件(駅伝営業取締人西東勇吾、明治18年12月規約へは平民西東勇吾・日野久橋・紺野久治・盤渡治・志家芝九郎・金成善蔵・滝本金蔵ら複数人の駅伝営業人連名)、日高国浦河郡西倉村佐々木常吉宿村送り該費金返付の件(運送金の件)、白老町役場へ照会往復の件もあり、三重県人民にして管内運送の際替替金額取調の件、証券印紙売別入へ印紙下付の件、青森県津軽郡浦川町村通送人有無取調の件、15年元札幌県に於て繰書き掛る岩手県平民村木清蔵送費取調の件、元駅通所郡民へ無代御下渡の義願(登別村総代人滝本金蔵。片倉家入植時からの駅通が幌別川の出水で大破しているため、一部を学校、一部を戸長役場、一部をこれまで通り通符借人へ貸し旅人宿・人馬継立所としたい為払下を願う)等。	27.8×20.2×2.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十九年 幌別外二ヶ村々治類典」、折部分に断裂小)。旧表紙より表題をとる。背表紙に昭和期の題箋貼付(上部・下部欠損小、破れあり、題箋部分的に欠損、後年背表紙に直接黒ペンで「明治十九年」と記載)。保存年限永年。後年の付箋有。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「札幌幌別戸長役場」用紙あり。
31	明治十九年 幌別外二ヶ村々治類典	明治18年1月18日～明治19年12月24日。目次第1～57号、37～48。18年度後半に係戸数割調差出の件(1～3等に区別、総計51戸、増減調差出とも)、商金高調差出の件(明治18年篤別・登別旅人宿止宿人員調、幌別村明治18年地方税中各営業商金統計表)、駅通より貸与の人力車課税の件(人力車の貸与が必要か照会、西東勇吾1人乗人力車1輛返納)、中山弥重飲食店徴収の件、18年度後半諸営業税・切符配布及金員送納の件、鈴木留吉旅人宿営業願差立の件(指令・税金送納の件とも)、高橋丑太郎小売商出願の義差立の件(指令・税金送納の件とも)、馬売買営業・廃業届熊谷重太郎外2名より差出連達の件、18年1月より12月迄商金高調返戻の件、16年より18年まで輸出入物品代償調の件、日野久橋印紙売別営業出願及指令の件、遠谷弥七郎小売商廃業届差出の件、西東勇吾荷馬車廃業届出の件、西東勇吾旅人宿廃業届の件、営業取締満期届の件、営業取締改選届差出の件、幌別・登別両村商金調取締人差出の件、遠谷弥七郎鮭漁業着業届の件、遠藤三郎鮭漁業着業届の件、昆布払下代徴収送納の件、滝本金蔵漁業届(明治19年9月29日)等。	28.4×20.4×6.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。裏表紙の裏に「明治十九年 幌別外二ヶ村々治類典 国税 地方税」と記載(墨筆)があり本来の表紙か。保存年限永年。背表紙破損(題箋とともに断裂)。表紙右下部に折れ有。後年の付箋有。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「札幌幌別郡各村戸長役場」用紙あり。
32	自明治十九年一月至全年十二月 勸業科 幌別外二ヶ村々治類典 養蚕桑・牧畜・報告・開墾・水産 幌別郡各村戸長役場	明治18年12月22日～明治19年12月6日。幌別郡各村戸長佐藤誠。養蚕桑第1～4号。養蚕摘桑鑑札可願の件、養蚕摘桑鑑札下渡願の件、本年出産新繭質上直(値)段広告の件、養蚕実況取調の件(佐野源蔵他3名)。索引の表題はないが農商工関係表第1～26号。農商工公報第92号格別余部有志者へ配布の件、幌別郡移民概況、移民一覽表并植民願未取調の件、農商務通信規則の件、小麦に葉食害虫の状況報告并予防書の件、小麦にクワ穂発生予防除害の件、札幌競馬馬告の件、篤別村へ伝染病馬発生に付報告の件、新冠御料地に於て馬御払下広告の件、須田市十郎種豚拝借願御指金済の件、種牛売別廣告の件、農業雑誌の件等。牧畜第1～7号。種馬交尾諭達の件等。索引の表題はないが報告関係。牧場景況(西東勇吾)、輸入物品調(幌別郡各村人民需要物品輸入調)等。開墾第1～12号。函館県亀田郡湯ノ川村にて収穫の夏蕎麦購入金の有無の件、移住民墾成反別届出の件(人別)、準備林木種無代償下付の件、大西直造外4名開墾満期届の件等。水産第1～16号。本県下に於て1ヶ年間需要する水産肥料数量取調の件及雛形共、該郡各村に於て客年中収穫せる昆布石数価額取調の件、遠谷源七郎鮭漁業願(営業見込調共、篤別村字イタンギ図面付)、小片朋喜布海苔採取着業願、斎藤良知鮭漁業願(営業見込調共、図面付)等。共進会第1～12号。	28.0×19.4×5.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治十九年 幌別外二ヶ村村治類典」)。旧表紙より表題をとる。背表紙に昭和期の題箋貼付(断裂・欠損、後年黒ペンで「明治19年」と記載)。保存年限永年。後年の付箋有。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「室蘭虹田有珠幌別郡役所」。「札幌幌別郡各村戸長役場」用紙あり。
33	明治十九年 幌別郡各村治類典	明治19年7月17日～明治20年1月6日。幌別郡各村戸長佐藤誠。第1～15号。旅費支給の義照会の件、7月分諸仕出及諸証書渡し経費支給の件(～12月分)、戸長以下旅費支給の件等。各仕出関係詳細あり。	28.2×19.2×6.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。背表紙に昭和期の題箋貼付(断裂・中央より上部欠損)。保存年限永年。一部罫紙(「札幌幌別戸長役場」)。「室蘭虹田有珠幌別郡役所」。「北海道庁」。「戸長役場」。「室蘭虹田有珠幌別郡役所」用紙あり。

34	明治二十年 幌別外ニヶ村々治類典	明治20年2月8日～明治20年11月8日。幌別郡各村戸長佐藤誠。索引では第1～11号となっているが実際はその後にも別文書が綴られる。経費節減の義に付達(拓地殖民の新事業を興張拡充の為)、郡長有珠郡に出張の件、郡長出京不在中郡書記郡務の事、文部省通知に付通知(宮城県土族嶋津利弘について宮城県尋常師範学校在学中の所行により官公私立の学校への入学禁止)、西洋形船舶構造方の義に付達の件、文書往復の義に付書例の件、19年地租満季の分仮定上納の義の件、郡長古川浩平代理時々達せざるの件、山林内に於て放火厳禁の諭達の件、有珠派出所を廃すとありし件(明治20年5月20日付)、青森県下虎例拉病患者通知の件、室蘭外三郡役所及戸長役場庶務細則規定に付通知、室蘭警察署室蘭郡役所へ移転に付告示、分家・絶家・再興願等の届出先に付通知、貸地其他に付き通知、官有地貸下願書宛名に付通知、北海道師範学校尋常科・簡易科生徒募集に伴い推薦すべき人格・試験科目に付達、青森県在籍の旅行病人に付通牒、天長節参賀順序・賞差差出方通達、官営幣社以下仏堂の称名に付達等。	28.6×20.4 ×2.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。保存年限永年。表紙のラベル右下に「A」と記載(鉛筆)。背表紙に昭和期の題箋貼付(破損・欠損あり。題箋文字擦れ)。左端全体に反り穴。一部罫紙(柱書「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「北海道庁」)。「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」用紙あり。
35	明治三十年一月 幌別外ニヶ村々治類典 協議費	明治19年3月25日～明治21年5月24日。幌別郡長田村額允、古川浩平、福原鏡之助。幌別村外ニヶ村戸長(幌別郡各村戸長)佐藤誠。明治20年12月19日戸長日野愛意。第1～12号。20年1月分経費支払(10月まで。木造建物割、月俸受領証、経済原論・炭質上金受領証、筆墨料受領証等添付)。予算方法の義照会全章(学校経費関係)。19年度予算取調指立の件(明治19年度幌別戸長役場協議費予算)、経費支払関係(明治20年2月28日付(後日もあり)校舎賃上料、幌別学校訓導堀孝太郎給金、幌別学校障子張替御雇料(宮武藤之助)、刈田神社祭典費受領証、学校雪除人等の費用受領証等を綴る)、国益の為金穀財産寄付の者照会、明治19年度下半期幌別郡協議費決算の儀御届、明治19年度幌別郡町村費決算報告書、明治19年度上半期協議費予算、明治20年度協議費予算、幌別小学校経費等。	25.0×17.4 ×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治二十一年 幌別外ニヶ村々治類典」)。旧表紙から表題をとる。背表紙に昭和期の題箋貼付(一部欠損、題箋文字擦れ、後年上から黒ペンで「明治二十一年」と記載)。保存年限永年。表紙のラベル右下に「C」と記載(鉛筆)。全頁通じて左側に綴じ穴(編纂時に誤ったか)。319・320頁間に下札と見られる紙片2通挟込み(記載内容:通計金223円54銭・20年度108円80銭 学校)。333・334頁間に断簡2通挟込み(等級・乗率・戸数・賦課金を記載した表・金46円38銭の説明資料)。一部罫紙(表書「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「北海道庁」)。「戸長役場」用紙使用。
36	明治三十年一月 幌別外ニヶ村々治類典 地方費・給与・物品調度	明治20年1月8日～明治20年11月13日。幌別村外ニヶ村戸長佐藤誠。戸長以下月俸支給の件、1月分経費受取の件(立川梅蔵他1名給与・1月分役場諸費)、旅費支給期限の件、1月分経費支払の件、内国旅費の件、郵便切手電信切手支払の件、1月分勘定帳訂正の件、20年度より宿直膳料一賄金2銭5厘と被定の件、諸正当証書一通可指立の件、経費予算調の件、片倉景光より建替の件(幌別村建家1棟を戸長役場として賃上げるにあたり、戸長役場が1か月ずつ借家料を支払うことを承諾。片倉景光→戸長佐藤誠)等。20年1月からの役場の支払い関係がわかる。	27.6×19.2 ×7.2	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治二十一年 幌別外ニヶ村々治類典」)。旧表紙より表題をとる。保存年限永年。背表紙に昭和期の題箋を貼付(下部欠損、一部断裂あり)。左端全体に軽い反り有。表紙表に貼付のラベル右下に「B」と書込み(鉛筆)。一部罫紙(柱書「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」)。「室蘭虻田有珠幌別郡役所」用紙あり。
37	明治二十一年 幌別村外ニヶ村々治類典 道路・橋梁・牧畜・養蚕	明治21年1月2日～明治21年11月13日。幌別郡長福原鏡之輔、幌別村外ニヶ村戸長日野愛意。初めの索引には第1～13号とあるがそれより多い文書が綴られる。洋種馬飼料金送付の件、洋種馬交尾況報告の件、豚増減届の件、豚貸与当分不相成の件(種豚)、洋種馬資料金送納の件、登別橋受負積書の件(滝本金蔵)、民有馬増減届調書の件、19年20年熊狼番人馬調の件(熊・狼とも馬のみ被害、頭数書付)、畜業熟練の者札帳に於て開集談会可出の件(日野久橋を札帳に派遣する旨回答)、日野久橋牧草払下願許可の件(幌別郡産馬改良組合頭取日野久橋)、土木請負保証等の件、道路橋梁破損元調の件、貸与豚産児を以て返納の件、木材川流の義達の件(幌別川鮭魚番種の産卵場取設により期間中の木材川流の禁止)、日野久橋牧牛起業見込みの義上申(事業功程調・種牛拝借願等添付)、悪馬去勢届(品種改良の為、西東勇吾、知里青門、志家吉蔵等)、暴風雨の義報告、熊掌差立の件(登別村知里波衛登が打留めた熊の掌・舌・尾を差出した件につき)、橋梁修繕寄付の義に付開申、屯田本部用地内に幌別村境界の里道を設置する件(彩色図面添付)等。	26.4×18.0 ×3.5	昭和期幌別村役場の表紙・裏表紙・背表紙を装丁。背表紙に題箋貼付(ほぼ破損、後年背表紙に直接黒ペンで年号記載)。表題は旧表紙からとる。「保存年限永年」とされる。旧表紙右側カビ痕あり。1～23頁上部にシミあり。後年の付箋あり罫紙あり(柱書「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」)。「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」用紙あり。
38	明治二十一年自一月至 幌別郡各村治類典 学務 幌別郡各村戸長役場	明治20年6月10日～(幌別郡各村戸長佐藤誠、日野愛意)学事年報様式につき通知(室蘭郡役所一幌別戸長役場ほか各戸長役場宛、様式添付)、北海道統計表様式(印刷物、目次の「郡区ノ戸長及建物」「郡区ノ人員」「在留外国人職業別」「医師産婆及針灸」「病院」「官立私立病院患者ノ病状」「徴毒検査」「伝染病患者」の行に朱線を引く「契印押印」)。明治21年4月20日付「開校御届(幌別村137番地、私立相愛小学校、来る25日開校につき)」「幌別村134番地平民金成太郎代河田為助(印)→北海道庁長官岩村通俊、幌別郡幌別村外ニヶ村戸長日野愛意奥書奥印」。明治21年8月17日付相愛小学校校主交換届につき通知(同書の形態に変換するよう指導、室蘭郡役所一幌別郡各村戸長役場)、明治21年8月25日付「校主変更之義(私立相愛小学校校主金成太郎家事向の都合により西東勇吾に変更)」「幌別村60番地管内太郎(印)・同村西東勇吾(印)→北海道庁長官永山武四郎、幌別郡幌別村外ニヶ村戸長日野愛意奥書奥印。明治21年9月5日認可)。明治21年9月7日付「開校式施行二付御隣席願(私立相愛学校)」「幌別郡幌別村金成太郎代西東勇吾(印)→幌別郡長福原鏡之輔、明治21年9月7日付「開校式施行二付御隣席願(私立相愛学校)」「幌別郡幌別村金成太郎代西東勇吾(印)→幌別郡各村戸長日野愛意、明治21年9月8日付「校名変更御届(私立相愛学校から愛隣学校へ)」「幌別郡幌別村村主西東勇吾→北海道庁長官永山武四郎、幌別郡幌別村外ニヶ村戸長日野愛意奥書奥印、西東勇吾履歴、学田関係等。	28.0×19.5 ×4.0	表紙はあるが厚紙では仕立てられていない(裏表紙は厚紙)全体に紙縫の綴じはずれにより原型がなくなっている(天地逆、順序の乱れあり)。中に目次を挟込むが、「学務」綴の内容ではなく土地私下関係のもの。一部罫紙(柱書「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「戸長役場」)。一部用紙使用(「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「戸長役場」)。
39	明治二十一年自一月至十一月 幌別郡各村治類典 雑 幌別郡各村戸長役場	明治20年11月8日～明治21年11月27日。幌別郡各村戸長日野愛意。明治20年12月27日付けで福原鏡之助4等技手が室蘭有珠虻田郷長持命に付通知、福原郡長不在中の代理者通知、米国船行方不明の件に付照会、登別村蘭法華坂修繕落成、郡民本澤直養外5人貸与金未納分今般特典を以て棄捐に付達(棄捐人別調添付)、官賃金棄捐請書送付の件(御受書付)、登別村温泉寺滝本金蔵開拓使貸付金未納分を今般棄捐に付達、知里盛治アイヌ語取調手当金受領証書訂正の件、道路に係る電柱の義照会、材木川流の義に付照会、国道中造机取調の義照会、証券印紙下の義照会、屯田兵所有馬放馬差留の義照会、松苗植付の件、死亡人埋葬の義御請(幌別村字ドウシリは従来死亡人埋葬地であったが当家人に接近し衛生上有害として明治21年6月15日以来埋葬せず、許可を受けた字ワピラシ共同墓地に埋葬する旨の達請書、志家芝九郎他4名)、幌別村浜町7番地土族齋藤良知長男平治品行調の件(私立学校教員従事希望に付)、諸官員暑中休暇に付達、献地に付御賞与の件(国道開鑿路線に係る市有地献納、片倉景光・遠藤三郎)、戸長役場保管人力車入札下の件、鶴繁殖に付取調の件(放棄場に適当の地なしと回答)、御貸与金年賦上納願(西東勇吾)、医員巡回の義に付願等。	28.4×19.5 ×5.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治二十一年 幌別郡各村治類典」)。表題は旧表紙表書よりとる。背表紙に題箋貼付(断裂部分あり、文字擦れ)。保存年限永年。後年の付箋有鉛筆による書込み有。一部罫紙(柱書「戸長役場」「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「北海道庁」「東京府日本橋区役所」「神奈川県横浜区役所」)。「室蘭虻田有珠幌別郡役所」「室蘭屯田兵中隊」用紙あり。
40	明治三十七年 幌別村外ニヶ村々治類典	明治36年12月22日～明治38年2月4日。幌別郡各村戸長橋本義知。第1～97号(12号が別内容で2件)。電信約字表の義に付通牒、役場事務並に町村内概況報告、衆議院議員選挙に関する取調報告、貯金増減表、人口数調査表、総代人員数、事務件数表、明治36年役場事務村内概況送付の件(村内の状況詳細)、露国民保護に関する件、戦報通報の件(敵の駆逐艦等撃沈と言った戦況報告)、露西亜国に對し戦を交ける件、新聞紙寄付の件、小畑新七引取方の件、日本尚兵義社釀金の件、貧弱者取調、名勝旧蹟にして国有林其他の件、堤防敷地取締、紺野久治戸籍其他の件、山口繁造外1名の件、戦時に於ける地方経営の件、国庫債券に関する件、蕎麦共同販売、満韓事業経営、大麻屑頒布、韓国渡航旅券、羅紗使用方、時局に於ける地方視察、小使慰勞金の件、在韓国領事其他の件、諸取調書の件(戸数推移、土地、学校関係、支出入等)等。	28.3×20.0 ×5.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。背表紙に題箋貼付(背表紙下部欠損、題箋の文字擦れ、後年題箋の上から直接色ペンで作成年記載)。保存年限永年。後年の付箋有鉛筆による書込み有。内容後半上部にシミあり。弱版の文書で色が薄くなってしまっている物あり。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」「北海道庁」「室蘭町役場」「室蘭支庁」「室蘭支庁管内戸長役場」)。「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」「北海道庁」「室蘭支庁管内戸長役場」用紙あり。
41	明治三十七年 幌別村各村村治類典	明治37年1月6日～明治37年12月13日。幌別村長橋本義知。第1～96号。教員住宅料支給に関する件、公布式新聞を小学校に於て購入方の件、訓令廃止に付通牒、理髪器械代送付の件、特別教育に関する件、教育試験検定の件、児童欠席に関する件、旧土人学齢児童委託の件、教育辞令に関する件、動後貯蓄規定の件、学校一覧表の件、36年度学事年報の件、補修科図書調の件、植樹成績表の件、委託児童数の件、卒業児童来調の件、小学校名譽旗の件、今清水信治に係る件、軍艦観覧に関する件、動後歌記布の件、代用教員欠勤届、学齢児童就学に関する件、旧土人児童教育委託の件、実業思想養成に関する件、御聖影奉置所の件、旧土人保護費配布の件、教員異動通知の件、催眠術に関する件、勅語下賜の件(開戦以降陸海軍ハック其忠勇ヲ致シ…)等。	28.3×19.1 ×6.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(背表紙ほぼ全て欠損)。保存年限永年。文書左端部分に欠損・シミあり。弱版の文書で色が薄くなってしまっている物あり。131・132頁間に調査表断簡(備考欄に「本表ハ旧土人分ナリ」と記載)、132・133頁間に調査表断簡(備考欄に「幌別村ハ戸数二百八十二戸ニ對シ学齢児童…」と記載)、133・134頁間に調査表断簡(備考欄に「朱ノ簡易教育所ナリ」と記載)、134・135頁間に調査表断簡(備考欄に「温泉場教育所ハ明治三十六年六月十二日廃止ニ付…」と記載)、135・136頁間に調査表断簡(「」童表」と記載)挟込み。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」「室蘭支庁」)。「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」用紙使用。

### 3 庶務関係

	資料名	内容	タテ×ヨコ×厚さ(cm)	備考
42	明治三十八年ヨリ明治三十九年二至ル 庶務二関スル書類 第一類 幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場	明治37年3月18日～明治40年1月18日。幌別村戸長橋本義知。231頁後に中表紙「明治三十九年 庶務二関スル書類 第一類 幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」と書類を綴る。明治38年分(第1～25号(168頁まで)実際は231頁まで)は綴られている。勤勉貯蓄成績報告、貯金増減表、事務件数表、町村字調査(幌別村12、鷺別村3、登別村6)、徴発物件表提出の件、人口統計小票用紙残余の件、二級町村制施行調の件、正貨流出の件、書類編纂の件、万国慈善救済会開設、相続者の義に付報告、下賜金の件回答、告論文に仮名文字使用の件、生徒貯金台帳の件、各学校貯金増減表報告、町村吏員教員成績調査、地方自治の指針送付の件、大連起業者の件、町村是及青年会の件、篤志者及実業熱心者等に関する件、職工労役者解雇の件(時局推移に伴い軍需品製作に使役されていた者が解雇される者が増加していること)に付、秩禄処分願に対する指令交付の件等。明治39年分(第1～16号。貯金増減表、戸口統計調査、人口統計表の件、秩禄処分に関する請願の件、貯金成績増減表送付の件、漂着機械水雷取扱方、村内火災に関する謝状、戦時記念救護写真帖の件、戦時写真帖の件、町村治績等)。	28.0×20.5×4.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁(表書「明治三十八年 庶務関係」)。背表紙一部欠損・断裂(作成年記載「明治三十八年」色ペン)。表題は旧表紙表書からとる。保存年限永年。後年の付箋有。170頁左下角断裂部分を169・170頁間に挟込み。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」)。「北海道庁」。「北海道庁室蘭支庁」。「室蘭町役場」。「白老郡各村戸長役場」。「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」用紙あり。「胆振国幌別日野用箋」あり。
43	明治四拾壹年 庶務二関スル書類 第叁類 幌別外ニヶ村戸長役場	明治37年3月30日(333頁)～明治41年12月13日(366頁)。幌別郡各村戸長橋本義知。貯金増減表進達表の件、職員及び児童貯金増減(登別・幌別尋常小学校、札内・湯の滝・富岸簡易教育所、役場員の調査表添付)、妻状送付の件(小原ヒデ、生徒召集用の手振鈴1個登別尋常小学校へ寄付に付)、寄宿留の件、明治40年役場文書取扱件数調(件数を数えるため正の字を書付けたメモ添付)、相続税に関する報告書、篤志者事績取調の答申、参考書蒐集の件(本道で刊行し自治事績・古人有益なるもの)、慈善救済事業の件、妻状木杯受領証の件(ヤマハ風琴1台を寄付した出資者へ対し)、篤志者事績取調の件(日野久橋・遠山弥三郎)、管内概況等進達の件(明治40年戸長役場事務概況・明治40年村内概況調)、明治37・38年役場品配布の件、節操の名ある婦女の件(幌別村、夫の死後も女で1つで商業を継続し、娘らを愛国婦人会に加入させる等の事績)、公務旅行に関する件、相続税に関する報告書、黒澤友益二男次郎の件(神戸郵便局郵便夫に採用するにあたり素性照会・回答関係)、行賞上申の件、青年会の件(幌別振興会青年部沿革)、小針銀六取調の件(移住元茨城県と重籍、次男(照会は6男)辰之介は旅順203高地にて明治37年12月死去)、一般民献品不採納の件(昌子内親王降嫁に付)、学校貯金報告(富岸・札内・湯の滝教育所、登別・鷺別・幌別尋常小学校、鉱山教授所、役場員)、英国水夫ジョン・フレーの件(停車場の小屋で寝込んでいた所を発見、同盟国人ニモ有之間とあり)、風水害被害に付き待従巡視の件、不正行為に関する件(日本海員救済会)、旧土人戸口及出生死亡等調査の件等。	28.2×20.5×4.0	昭和期に旧表紙の上から幌別村役場の表紙等を装丁(表書「明治四十一年 庶務関係」)。背表紙に題箋貼付(題箋大部分欠損、背表紙中央より下部欠損・断裂、背表紙に直接、色ペンで作成年を記す)。表題は旧表紙表書からとる。保存年限永年。後年の付箋有。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」)。「幌別村外ニヶ村戸長役場」。「室蘭区裁判所」。「北海道庁室蘭支庁」。「北海道庁」。「岩手県」。「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」。「岩手県」用紙あり。「通信用紙」。「胆振国幌別日野用箋」あり。
44	大正五年 庶務二関スル書類 幌別外ニヶ村戸長役場	大正4年11月～大正5年11月1日。大正5年度歳入歳出予算提出通知(北海道庁室蘭支庁において検閲を行うため)、幌別郡幌別外ニヶ村大正5年度歳入歳出予算書(後に提出、認可に関する文書あり)、昭和天皇即位に当たって内務大臣訓示に関する件(大正4年12月6日付一木内務大臣訓示要添付、内容、志気の振興に関する件、養老並し賑恤の恩典に関する件、功労者の栄典に関する件、恩赦出獄人の保護に関する件、警察に関する件、衛生に関する件、青年団体に關する件(帝國在郷軍人会に関する件)、公益事業に対する補助の件、大正5年度各小学校予算説明書、高等小学校併置に伴う経費増加見込額(大正4年11月、幌別尋常小学校長丹野勇橋、備品図書・器具・消耗費明細書を示し末尾に予算説明書を添付)、室蘭支庁主催町村戸長会議事項(議事・神社整善に関する件、町村吏員の服務に関する件、基本財産造成方法確立に関する件、新米移民の保護指導に関する件等、指示事項、伝染病消毒に関する件、産婆普及に関する件等)、北海道史編纂関係(金成喜蔵・金成太郎・本澤直養・齊藤良知・片倉景光照会)。良知と直養の読み方、生年月日等の照会を受け(良知の読み方は齊藤良三に照会)、片倉景光の生年月日について安政6年5月と8月どちらかとの照会には実際は5月13日だが戸籍には8月10日とあり、と回答している。	25.7×18.4×3.0	表紙・裏表紙・背表紙(表書・黒ペン・赤ペン)の上から白色の厚紙で仕立て直され黒紐で綴じられている(表書・背表紙上書・黒ペン)。一部罫紙(柱書「幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」)。「幌別外ニヶ村戸長役場」。「北海道庁室蘭支庁」。「幌別郡管内小学校」。「北海道庁」)。一部用紙。
45	大正六年 庶務 幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場	大正6年2月28日～大正6年11月20日。幌別外ニヶ村戸長松尾碩男、浦澤守一。第1～5号(綴じる順番は異なる)。基本財産消費復審延期の件(後に認可あり)、戸長事務引継の件(詳細資料添付、4月8日松尾碩男から浦澤守一に交代に係る引継)、事務品評会の件(出品するものがあれば送致するよう通知、幌別外ニヶ村戸長役場からの出品目録等添付)、規程改正関係等。	25.6×18.4×1.5	表紙・裏表紙・背表紙(表書・黒ペン・赤ペン)の上から白色の厚紙で仕立て直され黒紐で綴じられている(表書・背表紙上書・黒ペン)。一部罫紙あり(柱書「幌別郡管内小学校」)。「北海道庁室蘭支庁」。「幌別外ニヶ村戸長役場」。「幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」。「北海道庁室蘭支庁」。「北海道庁」用紙あり。
46	大正八年 庶務	大正8年1月9日～大正8年12月28日(電報、收受日)幌別郡各村戸長佐藤隆。第1～156号(一部削除あり)。納税表彰に関する件、部落民会合に関する件、農業教員採用の件、定期貸金債務者居所調査の件、維新史料に関する件、砂採取願の件、管外出張認可申請、身上調査の件、庁舎屋根修繕の件、石屋営業者に関する件、二級町村制施行の件、米価暴騰関係、大正6年道勢一班送付の件(添付なし)、朝鮮案内配布の件(添付なし)、秩禄に関する件、凱旋軍隊歓迎の件、花柳病に関する件(明治42年～大正7年芸妓・酌婦の特殊業態者税金額調・壮丁予備検診に於ける花柳病患者数添付)、精神病患者表削除の件、温泉宿泊人数に関する件、東伏見宮殿下御成に付衛生施設の件、史跡名勝天然記念物保存に関する件(登別温泉について所有区分・地目地積・由来伝説の概要等を記す)、旧土人共有財産調の件、野犬撲殺に関する件、旧土人に関する調査配布の件(本庁において旧土人保護の施設改善の為とあり)、巡査募集の件、大字名称改称の件、公園調査に関する件、消防出初式執行に関する件等。	25.0×17.0×8.0	旧表紙(表書「大正八年 庶務二関スル書類」)。「印・幌別郡幌別村役場」)。裏表紙の上から「昭和」と印字された題箋を貼付した厚紙で表紙・裏表紙を装丁し茶色の紙で背表紙にする(背表紙の断裂、欠損・文字擦れあり)。一部罫紙あり(柱書「索引用紙 幌別外ニヶ村戸長役場」)。「北海道幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」。「幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」。「北海道庁室蘭支庁」。「室蘭警察署」。「税務署用」。「幌別郡幌別外ニヶ村戸長役場」。「北海道庁室蘭支庁」。「胆振国幌別郡幌別村幌別鉱山事務所」用紙あり。521頁・522頁間に第156号と付された電報送達紙(大正8年12月28日付收受。明年1月4日は日曜日だが「御用始」とする旨の通知)挟込み。
47	大正十三年 庶務 幌別村	大正4年10月～大正13年12月27日。幌別村長吉田慶太郎、佐藤隆。登別・温泉・幌別・鷺別地区消防組出初式執行に係る打鐘の件、関東大震災により通信省・印刷局消失の結果年賀状を控える旨の通知文(胆振支庁長差出)、恩給証書取替に関する件、内閣更迭の件通知(内務秘書官よりの電報の内容)、盲人調査に関する件(男女・年齢を示した表、姓名書付あり)、税務上参考資料に関する調査の件(室蘭税務署宛回答、人口・戸数・生産額・労働高価調・土地建物時価及賃借料添付)、境界査定通知書送達に関する件、世帯主及戸数調査の件(正の字を書いて数えているメモ等も添付)、居所取調の件(余市で木材販売・鯨漁業を営んでいた人物が負債を抱え一家で逃走し幌別で磯漁場に従事しているとの噂があった為)、現地戦術出張の件(陸軍歩兵第28聯隊、将校18、下士2)、相続税に関する件、薪炭消費調の件、各会議招集の件、詔勅写書に関する件(送付の通知、内容は不明、普及徹底に勉めることとある)、衆議院解散理由通知、自治講習所生徒募集に関する件、地価調査委員候補者推薦方の件(醸造業宮武蔵の助推薦、所有土地所在及面積調添付)、登別温泉消防組員増員に関する件(組頭君嶋勝治差出)、幌別村大正11年度普通基本財産特別会計歳入歳出決算、幌別村大正12年度歳入歳出追加更正予算・普通基本財産特別会計歳入歳出追加予算、分筆登記に関する件、鷺馬引死に関する件(幌別保線より申出)、旧土人共有財産調、学習院学生青木子爵御兄弟一行来道(見学)の件、大阪市教育会第3回視察団の件(登別温泉附近公園運動場の図添付、後745～869頁間に複製枚の図面、建設関係文書あり)、発火演習実施に関する依頼の件、沿線方面事務研究会関係等。	28.0×18.3×9.0	背表紙として茶色の紙を帯状にして中央よりやや上部に貼付(糊割がれあり)。一部、罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別村役場」)。「室蘭警察署」。「北海道庁室蘭支庁」。「陸軍」。「幌別外ニヶ村戸長役場」。「北海道庁室蘭支庁」。「北海道庁」用紙あり。
48	昭和九年 庶務 補助及公債関係 幌別村役場	昭和8年4月20日～昭和9年12月28日(幌別村長河村虎雄、昭和9年9月8日付文書から今泉武雄)。第1～49号。昭和8年度高利債借換資金融通に関する件、温泉・登別・鷺別・鉱山・蘭法・幌別衛生組合補助(各詳細調書あり)、北海道統計協会補助金に関する件、幌別在郷軍人分会補助(会員70名、名誉会員40名、活動内容等あり)、鉱山在郷軍人分会補助(会員34名、昭和8年度事業計画あり)、温泉・登別在郷軍人分会補助、幌別村聯合女子青年団経費補助(団長、河村虎雄町長、団員130名)、登別温泉保勝会補助(会長栗林徳一)、村農会補助、胆振教育会補助、胆振畜産組合補助、林業胆振支会補助、神職会胆振地方会補助、湯澤・刈田神社補助、村聯合青年団・女子青年団補助、財政概況調の件報告、村費補助取消の件(昭和9年度発足の登別温泉振興会、解散の見込みとなり補助取消)等。	28.0×17.5×5.0	背表紙に題箋貼付(題箋に番号「8」とあり)。一部、罫紙使用(柱書「帝國在郷軍人会幌別分会」)。「帝國在郷軍人会鉱山分会」。「北海道幌別郡幌別村公用紙」。「北海道庁室蘭支庁」。「北海道庁」。「北海道庁室蘭支庁」。「登別温泉軌道株式会社」。「幌別村農会」。「北海道庁」。「村湯澤神社事務所」。「保証責任幌別信用購買販売組合」)。
49	昭和十年 庶務 幌別村役場	昭和9年10月30日～昭和10年6月22日。幌別村長今泉武雄。第1～6号。事務監査の件(昭和9年10月30日付で指摘された事項に関してのやり取り)、臨時技術員採用の件(学校建築監督員、履歴書添付)、学務委員任命の件(業議(教員2名から任命)、書類其他の運搬に関する契約書案の件(契約書案添付)、市長村会議員の費用弁償等に関する件(印刷物切抜き)、退職給与金請求書(元収入役)門山広衛→幌別村長今泉武雄)、町村吏員互助会設立資料に関する件。	26.9×19.3×1.5	背表紙に題箋添付(擦れあり)年号を上からペンでなぞる。保存年限永年。一部罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」)。「北海道庁」)。一部「北海道庁室蘭支庁」用紙。
50	昭和十三年 庶務 幌別村役場	昭和13年1月24日(2頁、收受:1月31日)～昭和13年7月5日。北海道庁訓令改正(印刷物切抜き貼付)、昭和13年1月24日付支庁長市長会議に於ける長官訓示要旨(印刷物)、昭和13年1月20日地方長官会議に於ける末次大臣訓示要旨(北海道庁、印刷物)、内務大臣の府員に対する訓示要旨の件(印刷物切抜き貼付、枠外に下駄判と「本件別途回覧ノ上完結可然哉」の書込みあり)。第1～第6(第2の趣旨なし)まで幌別村の各種事項に関する趣旨と詳細を記す(戦勝、中国への侮蔑的な表現、國家総動員と言った表記述あり)。第1庶務(村会、庁務、昭和11・12年度歳入歳出予算、選挙事務、其の他の諸務、昭和12年12月31日現在財産明細書)、第3教育(一般状況、学齢児童、教員)、第4社会(救護状況)、第5衛生(伝染病患者発生種別表、伝染病患者発生月別表、トラホーム健康表・治療成績表、第一(二)期種痘表、臨時予防注射及種痘成績表、春季・秋季清潔表)、第6保安(消防組施行々事、消防組編成等)、事務引継書(幌別村長住谷尚平昭和13年3月7日死亡につき、4月9日付で渡邊亨に引継)、聖旨奉体記念事業実施に関する件、自治制発布50周年記念式典挙行の件(印刷物切抜き、実施概況報告、自治功労者表彰関係あり)、村勢状況及施政方針提出の件(幌別村勢概要下書き添付)、新任胆振支庁長村内視察の件(日程添付、宿泊施設の予約メモの貼付、小学校宛の準備品に関する通知、幌別村々概要並に懸案事項書あり)。	28.0×20.0×3.5	背表紙に題箋添付(断裂・欠損あり)。保存年限永年。一部罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」)。「議案罫紙 北海道庁」)。一部「北海道庁室蘭支庁」用紙。

## 4 親展書類

	資料名	内容	タテ×ヨコ ×厚さ(cm)	備考
51	自大正7年7月至大正十一年七月 親展書類 幌別郡幌別村役場	大正5年12月30日(日野久橋領収証)～大正11年8月7日(幌別郡幌別外二村戸長佐藤隆)私事旅行認可申請(9月8日開催の北海道記念博覧会褒賞授与式参列・畜産状況視察のため)ほか管外出張認可申請、吏員・代用教員等の給与関係、蘭法華石材採石関係、大正8年4月1日から二級町村制施行(以後、幌別村長佐藤隆となる)、村医等職員辞職関係、希臘人ポリビオス・ピーツコスの件、戦役に関する功績者内申の件等。末尾に日野久橋差出の登別温泉・カルルス間道路修繕費の領収証あり(大正9年10月20日付)。	25.0×17.8 ×3.5	背表紙に題箋貼付。一部、罫紙使用(柱書「幌別二ヶ村戸長役場」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」)。
52	昭和二年 親展書類綴 幌別村役場	昭和2年2月24日～昭和2年12月15日(幌別村長松田熊吉)第1～46号まで幌別村役場の人事に関する書類を綴る(「収入役詮衡ニ関スル件」「吏員異動報告」等)。	25.6×18.0 ×2.0	背表紙に題箋貼付あり(簿冊類目「親展書類」、文字の擦れあり)。青色鉛筆で下部中央に「17」と記載された文書が丁外れ。上部に破損・折れあり。
53	自昭和三年至昭和八年 親展書類 幌別村役場	昭和3年1月17日～昭和8年12月14日(幌別村長松田熊吉、昭和8年6月5日付文書より河村虎雄)第1～111号。書記任命や解職・吏員解職や異動等の件、共産党検挙・結社禁止の件、産業功労者の件、モレイラ博士来道の件、満州国自衛移民の件、「北海道行政」誌編輯資料の件、松田村長在任中の事績調査の件(村役場位置変更問題・道路改修及開鑿・農業技術員設置・登別温泉小学校に高等科併置)等。	26.4×18.2 ×3.5	背表紙に題箋貼付。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村役場公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁胆振支庁」「北海道自治協会」「古山用箋」(昭和9年村会資料によれば村会議員となっている古山安澄使用))。
54	昭和九年以降 親展書類 幌別村役場	昭和9年1月6日～昭和11年1月27日(幌別村長河村虎雄、9月から今泉武雄)第1～40号。経費支出、校医辞職願進達、市町村義務教育費国庫負担法第四、管外出張認可申請、身元調査、勸語謄本下付、町村長退職慰労金の件、所有地境界につき答申(大坂義衛)等。特に教育勸語謄本並成辰詔書写本下賜、徴兵署見学のため経費支出(幌別尋常高等小学校校長差出)、鷺別青年訓練所主事任命(現職堀嘉園死亡のため)、各小学校教育産業其の他懸案事項関係(副業奨励等の項目もあり)はこの時期の学校の状況を知ることのできる貴重な文書である。	25.5×18.2 ×2.5	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。保存年限10年。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村役場公用紙」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁」「市立室蘭病院」)。
55	昭和十年 親展書類 幌別村役場	昭和10年1月6日～昭和10年5月30日(幌別村長今泉武雄)第1号から第23号まで、道外・管外出張認可申請、漁村経済更生協議会出席報告関係(漁村経済更生協議会協議問題(印刷物)等)、学校建築関係(残材の窃盗の件)、村役場吏員採用試験に係る履歴書・答案等。	27.2×20.0 ×5.3	背表紙を付けていたようだが上部に断片が残るのみ。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村役場公用紙」)。
56	昭和十一年以降 親展文書綴	昭和11年4月14日～昭和14年4月26日。元村長今泉武雄から幌別村長住谷尚平への引継書類(昭和11年4月14日付)。昭和10・12年度歳入歳出仕訳書、幌別村懸案事項(印刷物)、勲八等渡辺享履歴事項調査(幌別村長以前に河西郡大正村・川西村の村長歴任、和13年10月1日現在幌別村人口7,682人)、幌別村書記補辞職願(満州国移住決定の為)、吏員の服務監督、事務監査、村医採用の件(林国雄、在職中の勤務状況・村民間風評・嗜好習癖・得意とする医科)、求職願、私事旅行を延期・申告場所とは別な場所へ行っていた吏員への訓告(服務規程違反)、採用職員の窃盗事件の犯人であることが判明し検挙された関係(前述の訓告職員はこの者に賛成を受けていた)、幌別村会々議録抄本(昭和14年4月16日)等。	27.2×20.3 ×4.5	表紙裏に「諸届綴」の書込みあり。大まかに昭和14年、昭和13年、昭和11年、昭和12年の順に綴られている。
57	自昭和十七年度至昭和十九年度 親展文書類	昭和17年1月28日～昭和20年4月12日(幌別村長二階堂信次)吏員・臨時雇の採用・辞職・退職願、職員採用等の為の身元調査関係、欠勤届、昇給調書、学校職員等の年末賞与関係、村会議員選挙選挙執行に関する件(生活の主が「白老村」にある人物を選挙人名簿に入れたことについて調査が足りない旨胆振支庁長の遺憾通知、投票通知ハガキ等)、軍隊(北部第9557部隊)が鷺別国民学校に宿営する件(5教室使用中であったが他地に移動の旨報告)、職員の前領事件関係(身元調査等)、青年学校教員定期昇給に関する件、照会につき苦情(東部第28部隊係相澤→幌別村役場、新潟県出身者を青年学校教練指導員に任用するにあたり新潟県に所在する部隊に在隊していたことを調査するはずが「聯隊名を誤ったまま文書のやり取りを数回に渡り行った為)。	28.0×20.6 ×5.0	表紙右側上部のクリップは錆ていたため除去。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村役場公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「幌別村役場」「室蘭市役所」「北海道農業会胆振支部」)。

# 5 財政・予算・経済・財産

資料名	内容	タテ×ヨコ×厚さ(cm)	備考
58 明治四十四年度 予算綴 幌別郡各村戸長役場	明治44年1月13日～明治45年2月16日。予算通知の件、明治43年度救済所報告(当部内に該当事項なしと記載あり)、明治43年度予算更正申請・追認関係、明治44年度予算の件(副申あり)、予算検閲に関する件、予算説明書(村費賦課比較表・44年度教育費予算調等添付)、予算追加更正評決報告、総代会集の件(議案:幌別外二ヶ村明治45年度歳入歳出給予算書、幌別郡幌別外二ヶ村々々費賦課徴収規則改正の件、学田地貸付の件、蘭法華教授所廃所の件、札内教育所休校の件)、総代会集の件(44年度追加反別割各自課税額査定、各自課税額表添付)、登別校敷地に関する件(図面付)、湯ノ瀧教育所敷地に関する件等。	24.6×17.0×3.5	昭和期に旧表紙上から表紙・裏表紙・背表紙を装丁。表紙は旧表紙上書からとる。背表紙に題箋貼付(題箋の大部分欠損。背表紙破れ小。裏表紙にカッパの底痕のようなシミ有。保存年限永年。一部罫紙(柱書「幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道幌別郡幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道庁室蘭支庁」)「輪西外二ヶ村戸長役場」)、「幌別外二ヶ村戸長役場」用紙使用。後年の付箋有。
59 大正三年 起債申請・補助工事申請書類 幌別戸長役場	大正2年12月27日(收受:大正3年1月4日)～大正3年10月29日。幌別郡幌別外二ヶ村戸長松尾碩男凶作罹災者救済関係(各種補助の説明・土木事業施行調書の添付・起債稟議の際調査事項の件・凶作窮民救済土木工事の件・窮民砂利採取事業の件、幌別郡幌別外二ヶ村大正二年度歳入歳出予算、幌別郡内道路砂利敷設工事計画説明書(登別から鷺別までの工事施行道路の図添付)、幌別外二ヶ村大正二年度歳入歳出追加更正予算報告)。	25.6×18.6×5.0	表紙・裏表紙・背表紙(表書「大正三年三月 起債申請/補助工事申請書類」)「印・幌別/戸長役場」) 永久保存※永久保存のみ赤ペン)の上から白色の厚紙で仕立て直され黒紐で綴じられている(表書・背表紙上書・黒ペン)。一部罫紙あり(柱書「幌別外二ヶ村戸長役場」)「有珠郡社管村戸長役場」)「幌別郡管内小学校」)「町立室蘭病院」)。「一部「幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道庁室蘭支庁」用紙。103頁・104頁の間に電報送達紙の挟込みあり(丁外れ)。104頁に下札(補助申請書ハ先提出ノ分其尽(以下略))。381頁(図面)丁外れ。
60 大正七年以降 財務会議二関スル書類	大正6年12月22日～町村税務主任会議開催の件(大正7・8年・12・13年、議事内容等添付)。	24.9×17.0×3.5	旧表紙・裏表紙の上から白色の厚紙で表紙・背表紙・裏表紙で装丁し黒紐で綴る(旧表紙表書「大正七年以降 財務会議二関スル書口(類カ) 幌別村役場」)墨筆、右下部破損。最初の部分紙面に傷みあり。一部を除いてほとんどが謄写版罫紙あり(柱書「北海道幌別郡幌別村」)。
61 大正十二年 経済及財産 幌別村	大正7年4月1日～大正12年8月13日。幌別二ヶ村戸長浦澤守一、幌別村長佐藤隆、吉田慶太郎(索引には第1～10号となつては第19号と付された文書もあり、再編算された際に第10号までにとめられたものか。大正10年度決算に関する告示発布の件、大正11年度予算に関する告示発布の件、小学校予算下調に関する件(幌別・登別尋常高等小学校、鷺別・登別温泉・幌別鉦山尋常小学校、富岸特別教授場(代表は鷺別尋常小学校長木村三郎)の大正12年度教育費予算報告、警備費予算要求関係資料、各地域道路修繕等見積書等添付)、予算表に関する件(徳舜別村から大正12年度幌別村予算表一部の送付依頼に対する処理決裁)、不動産権利取得の件(各土地の図面添付あり)、賃借契約書等。	25.3×17.3×4.5	背表紙に題箋貼付(昭和期に編纂(題箋に「昭和」の印字あり。断裂・欠損あり)。保存年限欄に「十」と記載あり。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「幌別郡内小学校」)「室蘭警察署」)「幌別外二ヶ村戸長役場」)「北海道庁」)。「一部「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「使用337・338頁間に字ワシベツライハ417番村有地貸付地の図を挟込み587・588頁間に付箋挟込み(「大正九年衛生費補助ノ調査ヲ受クルコト」)。
62 大正十三年 経済並財産 幌別村	大正12年2月23日～大正14年1月14日。幌別村長吉田慶太郎。1～8頁白紙。町村有国債調、保証担保国債証券現在調、大正13年度一般会計歳入出予算の件、学務委員会開会の件、村費補助の件(胆振支庁長からの許可、各種団体からの補助申請を添付)、元戸長役場敷地無償貸付許可書(内務大臣子爵後藤新平一幌別村、鷺別村字ハマ12番地、申請書の添付あり)、大正13年度年末賞与予算に関する件、登別尋常高等小学校備品校旗寄附願、鷺別村字トケン村有地排水溝掘削工事に関する件等。村費補助申請は、帝国在郷軍人会幌別分会(大正12年度収支予算表添付)、北海道神職会胆振地方会、社団法人胆振教育会等が提出。	26.2×17.2×6.0	表紙に後筆にて「2冊の1」(ペン字)と書込有。背表紙に題箋貼付(昭和期に編纂(題箋に「昭和」の印字あり。断裂あり)。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「北海道庁胆振支庁」)「内務省」)。「一部「北海道幌別郡幌別村公用紙」)等あり。
63 大正十三年 経済並財産 幌別村	大正12年10月26日～大正13年12月17日。幌別村長吉田慶太郎。大正11年度決算表に関する件、大正13年度歳入出予算材料の件、各尋常小学校からの予算調査提出の件、大正13年度予算編成に関する件(登別消防組予算調書等添付)、地方財政整理緊縮に関する件、教育資金資金供給に関する件、カルルス特別教授場経費支出に関する件(登別温泉尋常小学校長堀嘉国)等。	27.0×17.3×4.5	表紙に後筆にて「2冊の2」(ペン字)と書込有。背表紙に題箋貼付(昭和期に編纂(題箋が欠損した部分の背表紙に「大正十三年」の書込みあり(黒ペン)字)破損・断裂・文字の擦れあり)。保存年限欄に「十」との記載あり。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「室蘭警察署警備費」)。「一部「北海道幌別郡幌別村」)「幌別鉦山事務所」)用紙あり。396頁・397頁間に当座勘定計算書の挟込みあり(丁外れ)。
64 大正十四年 経済及財産 幌別村	明治45年3月～大正14年12月26日。第1～472号中44件を綴る。町村国債調・保証担保充用国債証券現在高調、地方債許可の方針に関する件、郷社刈田神社村費補助許可関係、幌別村農会村費補助申請の件、登別尋常高等小学校敷地に関する件(明治45年の滝本浜による学校地寄付願(幌別郡幌別外二ヶ村戸長尾崎春松宛)を添付)、富岸特別教授場事務室建設に関する件、鉦山校修繕に関する件等。	28.5×19.8×6.0	背表紙に題箋貼付(昭和期に編纂(題箋に「昭和」の印字あり。破損・欠損あり)。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「幌別村農会」)「北海道庁胆振支庁」)。「村社湯澤神社社務所」用紙あり。
65 昭和三年 財産経済関係書類綴 幌別村役場	昭和3年3月9日～昭和3年12月10日(幌別村長松田熊吉)第1～41号。予算配布の件(消防組頭宛・小学校長宛)、地号貸付資金必要額の件、歳計現金預金銀行許可申請、村費補助申請(補助に関する調書添付。刈田神社・湯澤神社、帝国在郷軍人会鉦山分会・幌別分会・登別温泉分会等、胆振畜産組合等)、学校費寄附採納願(カルルス部落代表者日野久橋)、体量計1台寄附採納願(大字登別村字湯ノ瀧番外地 須賀首次郎)、消防組員退職手当給与につき照会等。	27.5×18.0×5.5	背表紙に題箋貼付。表紙落丁(テープの接着痕あり)。表紙の表面にカビ痕。保存年限「十年」とあり。文書類に比し表紙の法量が小さい。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「北海道庁」)「北海道庁胆振支庁」)。「村社湯澤神社社務所」)用紙あり。
66 昭和四年 財産経済関係書類綴 幌別村役場	昭和3年1月24日～昭和4年12月4日。幌別村長松田熊吉。第1～44号。消防組員退職手当給与の件、道路改良会寄付金の件(幌別村が道路改良会北海道支部事業費に寄付する件について至急の送金を依頼)、決算報告の件、癩予防費調査の件、村費補助申請関係(各地区衛生組合、各地区在郷軍人分会、各地区衛生組合、北海道林業胆振支会等)、公有林配当金に関する件、基本財産支消補填報告、神社予算認可申請の件、神社決算提出の件、寄付採納願(滝本ハマ、登別温泉尋常小学校備品として児童用机・腰掛1組)等。	27.0×19.5×6.0	背表紙に題箋貼付(破れあり)。保存年限永年。一部罫紙(柱書「幌別郡幌別村」)「北海道幌別郡幌別村」)「北海道幌別郡幌別村役場」)「帝国在郷軍人会幌別鉦山分会」)「村社湯澤神社社務所」)「幌別郡幌別村農会」)。「一部「北海道幌別郡幌別村」)用紙あり。
67 昭和七年 経済財産 幌別村役場	大正8年11月24日～昭和8年3月3日。幌別村長松田熊吉。第1～41号。認可書交付申請の件(字温泉場の学校敷地設定認可書、同字の共同墓地・火葬場設定認可書)、村費補助申請の件(登別温泉・鷺別・蘭法華・幌別鉦山・幌別衛生組合、胆振農産物出荷組合、北海道神職会胆振地方会・登別温泉保勝会、郷社刈田神社等)、教職員退職慰労金支出関係、普通基本財産一時支消金補填方法変更の件許可申請(不況一層深刻をまし加えて稀有の凶作により登別温泉入浴客激減の為)、郷社刈田神社財産登録変更の件(大字幌別村字ハマ70番地から同村字ニナルカ4番地へ移転築家の為)、各種団体費用調の件(各地区青年団等)等。	28.0×18.5×6.0	背表紙に題箋貼付(一部断裂・欠損あり)。地部分に「7. 経財」の記載(墨筆)。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「諸台帳」)「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道硫黄株式会社幌別鉦山」)「北海道庁」)「村社湯澤神社社務所」)「幌別村農会」)「登別温泉軌道株式会社」)。「一部「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「北海道庁」)「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道硫黄株式会社」)用紙あり。
68 昭和八年 経済財産 幌別村役場	昭和8年1月15日～昭和8年12月28日(幌別村長松田熊吉、河村虎雄)第1～70号。村費補助(岩振り産業組合、幌別村聯合青年団、北海道林業会胆振支会、胆振教育会、幌別村聯合女子青年団、胆振畜産組合等)、起債及償還方法変更許可申請の件通牒、町村罹災救助資金に関する件、町村有財産調の件、製炭事業資金に関する件、登別温泉小学校屋内運動場建築に関する件、登別温泉小学校屋内運動場建築委員囑託書の件、村会議決報告の件等。	27.4×19.0×6.5	背表紙に題箋貼付(一部断裂あり。題箋に番号「7」の記載あり)。保存年限永年。一部罫紙(「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)「有限会社幌別信用購買販売利用組合」)「北海道庁」)「村社湯澤神社社務所」)「登別温泉湯花株式会社」)。
69 昭和八年起 船入潤起債関係 幌別村役場	昭和8年3月20日付けで提出した伏古別船入潤築設関係文書綴(幌別村長松田熊吉)。築設の理由として幌別村は魚族の豊富な点では道内有数だが、避難港がなく漁業が発展しない上に沿岸漁民が命を落とすこともあるためとある。伏古別船入潤築設資金起債許可申請書(内務大臣・大蔵大臣宛)、船入潤築設費補助申請書(北海道庁長官宛)、継続費設定許可申請書(胆振支庁長宛)、基本財産長期支消許可申請書(胆振支庁長宛)。	28.0×19.7×5.0	背表紙欠損。一部罫紙使用「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「北海道幌別郡幌別村役場」)「北海道幌別郡幌別村」)353頁(裏面354頁)落丁。申請書のまとまりごとに「起債」)「補助申請」)「継続費」)「長期支消」と記載されたインデックスを貼付(黒ペン)。表紙にテープ痕あり。
70 昭和八年 財産及営造物関係 幌別村役場	大正12年4月1日～昭和10年8月13日(大正期幌別村長吉田慶太郎、以降松田熊吉、河村虎雄、今泉武雄と変遷)第1～48号。所有権移転登記承諾書(日野久橋、大字登別村字ペンケネセ285原野)、未開地売払願、鷺別学田借地願、返地届、トケン学田地内の土地につき嘆願、村有地(鷺別村字ワシベツライハ)現地目調査書、カルルス特別教授場校舎寄附採納願(日野久橋ほか)、校舎使用に関する件等。	25.2×18.0×3.5	背表紙欠損(テープ痕あり)。保存年限永年。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」)「北海道幌別郡幌別村」)47・48頁間に土地賃借契約書添付図面の落丁したものを挟込み。153頁落丁し挟込み。209頁に下札あり。

71	昭和九年 財産及営造物関係 幌別村役場	大正11年12月14日(簿冊末尾)～昭和9年12月31日(大正11年付文書幌別村長吉田慶太郎、昭和6年5月5日付文書松田熊吉、昭和9年1月27日付文書河村虎雄、昭和9年9月15日付文書今泉武雄)第1～26号。無租地成申請書(室蘭税務署長宛て、大字幌別村字ハマ0.216反、消防器具置場として。1月27日付室蘭税務署からの申請催促を受け提出)、土地貸借継続願(宇湯乃滝、宅地)、基本財産一時支消の件、未開地売払出願、町林有財産報告、村有林内樹木無償払下に関する件(幌別小学校内堆肥場設置、図面あり)等。	25.0×17.5 ×2.5	背表紙に題箋貼付(文字の擦れあり)。保存年限永年。罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」)。26頁～29頁をクリップで綴じていたが錆のため除去。28・29頁の間に未開地実地帳立会通知書(ハガキ)の挟込み。59・60頁両方から針で綴じられているが錆のため除去(同じ文書を綴じていたものか。重ねたまま編纂されているため下の方の文書は撮影不能)。罫紙の上部を折り畳んだまま編纂され全開不能な文書数点あり。室蘭税務署照会文書(66頁)に「附箋用紙」(室蘭税務署)をクリップで添付(錆のため除去、65頁・66頁間に挟込み)。
72	昭和十年 財産及営造物 幌別 村役場	昭和6年9月5日～昭和10年12月5日(昭和8年付けは河村虎雄、昭和9年幌別村長今泉武雄)第1～40号。幌別小学校校舎使用に関する件(幌別小学校から幌別青年団が資金造成のため活動写真映写の目的で使用したいとの申出があったので、指示が欲しいとの照会に対し、許可したもの ※同目的での使用ほか1回)、登別温泉小学校敷地賃貸借契約の件(屋外運動場として個人敷地を賃貸借)、村有貸付地管理に関する件、土地賃貸借契約書(個人)、普通基本財産処分の特許可指令、土地交換手続の件、町村有財産調、基本財産たる立木処分の件、基本財産処分並に補填方法の件(登別温泉小学校が学級の増加が見込まれることから校長の住宅に当てていた場所を教室に改築するため、登別小学校の旧校舎解体にあたり附属の校長住宅が消滅するため、2小学校とも校長住宅を建築する必要があるため。温小の校長宅図面(青焼き。封筒入り)添付)等。	28.5×19.8 ×5.5	背表紙なし(欠損の可能性あり)。保存年限永年。一部罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁」)。
73	昭和十年度 小学校起債関係 幌別村役場	昭和10年3月2日～昭和10年12月24日(幌別村長今泉武雄)。119頁・120頁間に登別小学校の現況平面図と改築平面図の挟込みあり(青焼き、封筒入り)。広報にも各学校の図面あり。昭和10年度歳入歳出予算書あり(赤・黒ペンによる加筆修正あり)。	29.5×20.0 ×6.0	背表紙に題箋貼付(破れ・欠損あり文字擦れ)。保存年限永年。一部罫紙(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」)。26頁・27頁間に預金部室蘭出張所から幌別村長宛て児童数及設備現況表の調整・提出の催促通知ハガキ挟込みあり。
74	大正十三年度以降 決算書綴 幌別村役場	大正15年2月18日～昭和14年7月5日(大正15年2月18日付文書幌別村長吉田慶太郎、昭和2年7月30日付文書松田熊吉、昭和8年6月16日付文書河村虎雄、昭和10年8月6日付文書今泉武雄、昭和11年6月23日付文書住谷尚平、昭和13年6月15日渡辺亨)。大正13年度～昭和13年度決算書報告綴り。	28.5×20.3 ×9.5	背表紙なし(元は作成されていた可能性あり)。保存年限永年。表紙は昭和期に再編纂された際に装丁されたもの(「昭和」と印字された上から墨筆で「大正十三」と記載、後、黒ペンにて「昭和13年迄」と追記)。一部罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村」)。

## 6 町村会関係

	資料名	内容	タテ×ヨコ×厚さ(cm)	備考
75	明治四十五年 会議録 幌別郡各村戸長役場	明治45年2月20日～大正元年10月10日。議会議集文書、議案一覧等。登別村総代人小原福太郎・総代人佐藤清左衛門(幌別村)、河田貞助(鶯別村)、林寅蔵(鶯別村)、宮武藤之助(幌別村カ)の名あり。	24.6×17.3×1.0	昭和期幌別村役場の表紙を装丁。背表紙に題箋貼付(破れ・文字擦れ(黒ペン))。保存年限永年。後年の付箋貼付。旧表紙・中身の上部にシミ・欠損有。一部罫紙使用(幌別外ニヶ村戸長役場)。
76	村会議録綴 幌別村	大正8年5月～大正14年(第23回までは幌別村長佐藤隆、第24回から吉田慶太郎)。目次には第1回～第7回村会と記載されているが第1回村会(会期:大正8年5月11日～14日)から第48回(会期:大正14年10月10日)までの会議録を合冊。	25.7×16.8×6.0	表紙に題字・村名が記載される(墨筆)ほか、右上に「自大八[ ]至[ ](字の痕跡あり)」、(赤ペン)左上に「永年保存(赤鉛筆)の書込み。会議録ごとに紙綴で綴じてあったものを編纂したもの。一部罫紙使用(北海道幌別郡幌別村役場)」「北海道幌別郡幌別村」。
77	大正十四年 議会並議事 幌別村	大正14年1月22日～11月5日(幌別村長吉田慶太郎、書記佐野督)村会議員の中に宮武藤之助あり。大正14年度特別税別割書各等級査定には日野久橋・宮武藤之助・黒澤精之進・津村柳吉・知里盛吉・藤江出来太・滝本浜・栗林五朔・温泉軌道株式会社・三井物産株式会社等の名が見える。大正14年度地方税戸数割毎戸賦課額査定書は村内各戸の所得・住家坪数・資産状況の斟酌によるものから割り出された賦課税の一覧。納税額の一覧は日野久橋、二番は宮武藤之助、三番は南恒平。大正14年8月3日提出の議案第1号不動産権利取得の件は元戸長役場敷地(住所地:幌別村大字幌別村字オカシベツ45番地)のもの。大正14年8月14日議決不動産権利取得の件は大字登別村字ボンアヨロの8畝10歩を共同墓地・火葬場にするためのもの。	26.0×17.5×6.5	背表紙に題箋貼付(背表紙・題箋とも保存年限部分のみ残る。簿冊類目部分には断裂しているため、表紙裏に挟んでおく)。保存年限永年。一部罫紙使用(北海道幌別郡幌別村役場)」「北海道幌別郡幌別村」。議案類に加筆された議決日などの印字や赤ペンによる書込みが一部にじみ判読不能になっている。
78	昭和二年一月以降 議決書類綴 幌別村役場	大正15年7月19日～昭和2年11月22日。(第60回村会まで幌別村長吉田慶太郎、第61回から松田熊吉)第59回村会(会期:昭和2年1月22日、議案2件)、第60回村会(会期:2月24日～26日、議案:16件、報告:大正14年度歳入出決算等3件)、第61回村会(会期:昭和2年3月12日、議案3件)、以降第68回村会(会期:昭和2年11月22日、議案3件)までの幌別村会議決報告・会議録等を綴る。	26.0×18.2×11.3	表紙上書のうち年月日部分「二[ ]一月以降」の欠損部分は背表紙と内容から比定。表紙のかび甚大、簿冊末尾の方の湿気によりペン字がかすんでいるため現状での記録が重要。中央部分のみ背表紙(上書「昭和2年1月以降議決書類」※黒ペン)をかけるが、表部分のみ剥がれ。一部罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村役場」北海道幌別郡幌別村)。議決ごとに綴じられていたものを後年合冊したと見られる。綴じ外れ等あるため取扱注意。
79	昭和三年以降三年・四年・五年 町村長会議書類 幌別村役場	昭和3年1月～昭和5年7月に胆振支庁主催で開催された町村会議に係る資料。昭和3年11月・12日開催会議事項(指示事項:選挙事務、恩賜就学奨励金使用方、青年訓練所並に実業補習教育に関する件等5件、注意事項:基本財産特別会計廃止、学齢児童調査、商工会の設置助成、民有地買入資金借入申請、開墾補助申請、畜産振興、漁業組合員整理に関する件等13件)。昭和3年11月17日開催会議事項(町村長部外出出張、吏員の服務、条例規程等改正、昭和4年度予算編成、農事実行組合整理、牛乳消流施設方法に関する件等17件)。昭和4年1月15日開催会議事項(現地目調査、教員配置、男女青年教育、義務教育費国庫負担法に関する諸件調査、杜丁名簿調製、町村道認定路線調査、昭和4年度施行産業施設に関する件等15件)。昭和4年9月25・26日開催会議事項(町村財政の整理緊縮、改正地方制度施行、教化運動策励、神宮式年遷宮、兵事事務に関する件等24件、協議事項:町村教化動員実施案等3件)。昭和5年1月16・17日開催会議事項(昭和5年度予算編成並追加予算に関する件等18件)。昭和5年2月4日開催会議事項(選挙事務関係17件)。町村長会議における支庁長訓示要旨。昭和5年5月地方官会議における各大臣の訓示。昭和5年7月9日胆振宣博協会臨時総会議案(支庁会議室)。昭和5年7月8・9日開催会議事項(昭和6年度町村予算編成、公務員の犯罪防止、教育勸励奨励40年記念、社会教育施設、兵事事務に関する件等26件、協議事項:帝室博物館復興資金、孔子廟造営に関する件等4件)。	26.3×18.5×6.0	背表紙に題箋貼付(背表紙・題箋とも一部欠損・破れあり、題箋に保存年限「永年」とあり)。裏表紙の内部分に「昭和三年以降町村会書類 幌別村役場」との墨筆記載あり。謄写版・印刷物を綴込み。黒ペン・鉛筆・赤鉛筆による書込み、回覧確認者の押印あり。518・519頁に大札記念帝室博物館復興費賛会 会長公爵徳川家達からの寄を願う書簡雑形(断裂あり)を綴じ、寄付への感謝状雑形を挟込む。
80	昭和四年 議決書類綴 幌別村役場	昭和4年2月15日～10月27日(幌別村長松田熊吉)。幌別村議会関係(昭和4年度予算関係ほか議案、議事録、議決報告)。	24.7×19.0×9.5	背表紙に「昭和四年 議決書類綴」と記載(黒ペン)。議案類は謄写版。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村」北海道幌別郡幌別村役場)。
81	昭和五年以降 村会々議録 幌別村役場	昭和5年2月24日～(第107回村会までは幌別村長松田熊吉、第108回から河村庸雄)第82回村会(会期:昭和5年2月24日～26日、議案8件、認定2件、報告1件)、第83回村会(会期:昭和5年4月6日、議案1件、諮問1件)以降第109回(会期:昭和8年5月13日、議案3件、議決提出議案1件)までの会議録。	25.5×17.8×4.5	背表紙あり(上書「昭和五年 村会々議録」※墨筆)罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)。何回の村会資料かをインデックスを付して示す(一部脱落あり)。
82	昭和六年 村会議決書 幌別村役場	昭和6年2月19日(議案提出日)～昭和7年1月6日。幌別村長松田熊吉。第87回幌別村会議案(会期 昭和6年2月23日～25日3日間、24日開会とあり)。議案8件(昭和6年度幌別村歳入歳出予算、村費補助の件、小学校授業料制度外徴収の件、登別東区長退職の件等)、認定2件(昭和4年度幌別村歳入歳出決算認定等)、報告1件(幌別村事務報告書及財産表)、諮問案2件(土地利用方法に関する件等)昭和6年4月8日村会議に係る議案6件(昭和6年度第1期村税特別税反別割土地等級及課率決定の件等、大字・字・地番・地目・等級・反別を人別で記す)昭和6年4月23日村会議議決案4件(臨時職業紹介所設置の件等)、諮問案2件。後半昭和6年12月20日第93回幌別村会議決議案に凶作救済土木工事施行・砂利採取工事に関する件等、昭和7年1月4日原案可決(書面会議)案件に昭和6年凶作救済事業として除雪人夫供給請負について室蘭保線事務所長と契約する件あり。	25.7×17.0×7.5	背表紙に題箋貼付(背表紙・題箋とも上部欠損)議案類は謄写版。一部、議決報告には罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)。地部分に「6議決書」の記載あり。
83	昭和六年十二月以降 町村長会議書類 幌別村役場	昭和6年11月28日～昭和7年12月3日における胆振支庁で開催された会議等に関する資料綴。昭和6年12月7日町村長会議事項(諮問事項1件、指示注意事項15件)、昭和6年11月28日支庁長会議における北海道庁長官訓示要旨。昭和6年12月7日町村会議における支庁長訓示、昭和7年2月13日町村長会議における石川胆振支庁長訓示、昭和7年2月13日町村会議事項(御真影奉衛・青年訓練の振興・婦人会等教育関係事項5件、選挙関係11件、町村関係事項3件、社寺及び社会関係事項7件、兵事関係事項2件等)等。澄宮殿下北海道御見学御日程概要(登別・幌別への立寄はないがプラットフォームでの奉送迎等を記す、明治43年行幸啓の節学生生徒の敬礼方の写添付)、愛国婦人会胆振幹事部協議事項等。	26.5×17.4×6.0	背表紙に題箋貼付(背表紙の断裂あり)。資料関係はほぼ全て謄写版(赤色鉛筆・鉛筆・黒ペン等による覚書や書込みあり)。一部、議決報告には罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)。
84	自昭和六年至同七年 村会関係(議事) 幌別村役場	昭和6年2月16日～昭和7年12月14日(幌別村長松田熊吉)。村会召集告知の件、建議案(漁業税村附加税を底減せらんとにつき、林寅蔵提出)、陳情書(漁業税村附加税を底減せらんとにつき、胆振水産会幌別支部長井上伊勢八)。決算認定に関する村会議決報告、校舎修繕費其ノ他調査ノ件等。	26.0×18.0×3.0	表紙上書の「同 七」は青色鉛筆での書込み。背表紙に題箋貼付(擦れ、一部断裂・欠損等あり)。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)。
85	昭和八年 村会原議綴ノ一 幌別村役場	昭和8年1月27日～昭和8年5月13日(4月10日付文書幌別村長松田熊吉、5月13日付文書河村庸雄)。議案(昭和7年度幌別村歳入歳出予算関係等)綴り。	25.1×17.7×5.5	背表紙に題箋貼付(背表紙の断裂あり)。表紙右上に「4」の書込みあり。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)。113・114頁間に「議案第1号 昭和七年度幌別郡幌別村歳入歳出追加更正予算(第8回)歳入部分挟込み。240頁右側に「昭和七年度幌別郡幌別村歳入歳出追加更正予算」のうち歳出「三、土木費」の内訳をピンで留める(239頁と重ねて、但し鎖の為除去)。100頁・110頁・237頁に付紙あり。
86	昭和八年 議決書 幌別村役場	昭和8年1月24日(議決日)～昭和8年12月13日(4月10日付文書幌別村長松田熊吉、5月13日付文書河村庸雄)。議決報告(議案添付あり)。議案には昭和8年度幌別村歳入歳出予算関係、不動産権利取得の件(国有未開地処分関係)等あり。	25.0×17.0×7.0	背表紙に題箋貼付(題箋上部に番号「3」とあり)。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村役場」有限責任幌別信用購買販売利用組合)。
87	昭和十年 議決書(特別税反別割関係) 幌別村役場	昭和10年4月4日提出、議案第1号 昭和10年度村税特別税反別割土地等級決定の件のみ記載(同年4月7日修正議決)との書込みあり。新旧の字・地番・地目・等級、反別、所有者の一覧。	28.0×20.0×4.5	背表紙に題箋貼付(一部断裂・欠損・文字の擦れあり)。「保存年限永年」とされる。全て謄写版(一部赤ペン等での書込みあり)。
88	昭和九年 村会其ノ他招集関係三冊ノ内巻 幌別村役場	昭和8年12月4日～昭和9年3月30日(幌別村長河村庸雄)。第1～16号。村会議決報告・普通基本財産支消並補填方法議決・予算書交付の件等議案報告中に昭和7年中幌別村事務概況及び昭和7年12月末財産表(戸数・人口・有給吏員調・文書処理状況、昭和7年度財政・社会(幌別村臨時職業報告書・旅行病死人員・人口動態・現役兵並第一補充兵決定人員)・教育(学校関係、青年訓練所関係等)・衛生・産業(畜産・農業)・土木・税務・村有財産表)、昭和7年度決算書、昭和8年中幌別村事務概況あり。	25.0×17.3×5.8	背表紙に題箋貼付。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」北海道幌別郡幌別村役場)」「北海道庁胆振支庁」。

89	昭和九年 村会其ノ他招集関係 三冊ノ内三 幌別村役場	昭和9年4月2日～昭和9年12月26日(7月1日付文書までは幌別村長河村虎雄、7月19日付文書では今泉武雄)村民の納税額一覧表あり(所得税・資産税)9月7日の村会は水害の為議員が9人しか応招しなかつたため9月11日開催としたが、18人中9人出席したにも関わらず開会しなかつたため、違法である旨、胆振支庁から遺憾の通知を受けている(昭和9年12月29日收受)。	24.6×17.2 ×6.5	背表紙に題箋貼付。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」)。
90	昭和九年 村会其ノ他招集関係 三冊ノ内参 幌別村役場	昭和8年12月28日～昭和9年 第1～23号、昭和7年度歳入歳出決算報告、昭和8年度当初予算報告、昭和8年度決算報告、昭和9年度当初予算報告、出納検査施行に関する件、昭和9年度小学校費予算。	25.5×17.0 ×13.9	背表紙に題箋貼付。「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村公用紙」「北海道幌別郡幌別村」「北海道庁胆振支庁」「北海道庁」)。
91	昭和九年 議決書 二冊ノ内二 幌別村役場	最初に本綴に編纂されている会議の事件概要・丁数・市町村会回数・開会月日・閉会月日・会議日数の一覧あり。昭和9年5月5日～昭和9年12月13日(7月1日提出議案までは幌別村長河村虎雄、7月12日か今泉武雄)昭和9年度地方税別割賦課地目等級及賦課箇數決定の件、現職篤別小学校長堀嘉国死亡に付き村葬に付する件(49・50頁)、昭和9年度幌別村歳入歳出追加予算(歳出は堀嘉国の死亡給与金・村葬費)、昭和9年度特別税戸数割賦課議案、小学校改築並修築資金起債の件等。	25.0×17.6 ×5.0	背表紙に題箋貼付。「保存年限永年」とされる。ほぼ全頁謄写版(黒ペン・赤ペン・鉛筆による書込みあり)258・270・387頁は地図だが270・387頁は編纂の際の綴じにより全開不能。
92	昭和十年 町村長会議 幌別村 役場	昭和10年1月19日～昭和10年12月17日(幌別村長今泉武雄)胆振教育会評議員会・通常総会議案(昭和8年度事業及び決算報告、昭和10年度事業計画及び予算)、町村長会議議案(庶務課関係、殖産課関係、教育係関係)、町村長会議における胆振支庁長訓示等。	25.0×17.5 ×4.0	背表紙に題箋貼付(断裂、一部欠損あり)。「保存年限永年」とされる。編さんミスによる表紙と内容の天地が逆に綴じられており、裏表紙側から1頁目が始まる。ほぼ全頁謄写版(一部、電報等)。

## 7 選挙関係

	資料名	内容	タテ×ヨコ ×厚さ(cm)	備考
93	昭和二年四月五月 村会議員 選挙書類 幌別村役場	昭和2年3月26日～昭和4年5月5日(幌別村長松田熊吉)村会議員選挙人名簿縦覧の件、告示発布報告、昭和2年5月1日付け村会議員当選報告には村会議員当選者調添付(氏名・住所・生年月日・住居年月日・職業・納税額・土地を記す。林寅蔵・宮武藤之助・南恒平・加地喜代太ら11人)当選者の議員承諾書、投票に係る委任状、選挙人名簿調製に係る照会に対する道内各地域からの回答文書等。	25.0×17.8 ×4.0	背表紙に題箋貼付(中央部分欠損)題箋上書に「明(治)廿八年/昭和二年[ ]外ニヶ村々治類典、保存年限「永年」とあり(題箋を付け間違えたものか)。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村」「北海道幌別郡幌別村役場」「天塩郡天塩町役場」「北海道苫前郡天売村役場」「北海道足寄郡足寄村役場」「北海道茅部郡尾札部村役場」「小樽市役所」等)。
94	昭和三年 選挙関係書類 幌別 村役場	昭和3年1月21日～昭和3年12月26日 幌別村長松田熊吉 第1～89号 告示掲載方の件、道会議員有権者調、選挙人鉄道輸送に関する件、選挙宣伝ポスター送付の件、衆議院解散の件、議員候補者推薦届出に関する件(手代木隆吉(弁護士・東京市居住)他)、学校使用に関する件、選挙資格調査関係等。	28.0×20.3 ×9.0	背表紙に題箋貼付(背表紙下部一部欠損、裏表紙と断裂)一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村」「幌別郡幌別村」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」「裁判所」)。
95	昭和四年 選挙関係 幌別村役 場	昭和4年4月4日～昭和4年12月26日(幌別村長松田熊吉)第1～40号 選挙事務主任会議開催、当選者告示・報告・告知等、幌別村会議員候補者調、異議申立並決定、衆議院議員選挙に係る件、陪審員資格調査の件等。	27.3×20.0 ×6.0	作成時の表紙の上から幌別村役場の表紙を装丁(旧表紙全体にカビのような痕跡あり)。背表紙に題箋貼付(背表紙・題箋とも下部欠損)「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道庁」「大船渡村役場」「衆議院議員選挙人名簿」)。
96	昭和八年 選挙関係 幌別村役 場	昭和8年2月24日(挟込み文書)～昭和8年9月5日(昭和8年4月20日付までは幌別村長松田熊吉、同年4月23日付からは河村虎雄)目次では第1～206号までの記載があるが178号までしかなく179号～206号までは落丁か選挙有権者に関する件、村会議員選挙資格調査の件、村会議員選挙有権者調査日程、告示発布報告、村会議員選挙名簿改訂方の件、異議申立の件等。選挙人名簿では、各地域ごとに選挙人の名前・住所・生年月日などが記される。	25.3×18.2 ×4.5	背表紙の跡は残るが完全に剥落。裏表紙・第179～206欠損。表紙に「保存年限永年」とされる。一部、罫紙使用(柱書「北海道幌別郡幌別村」「北海道幌別郡幌別村役場」「北海道幌別郡幌別村公用紙」)36・37頁の間に昭和8年2月24日付け議案第21号写の挟込み(北海道幌別郡幌別村公用紙2通)237・238頁の間に小樽市役所からの「選挙資格二関スル件照会」の往復はがき13通(回答部分は送付のため欠損)挟込み(クリップで留められていたが錆の為除去)。